

第七十九回
帝國議會
貴族院

國民體力法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十七年二月六日(金曜日)午前十時
二分開會

○委員長(公爵島津忠承君) 是ヨリ開會致シマス、最初ニ法案審査ノ順序ニ付キマシテ御諮リ致シマス、審議ノ順序ハ國民體力法中改正法律案、國民醫療法案、健康保險法中改正法律案、國民健康保險法中改正法律案、戰時災害保護法案ノ順序ニ御質問ヲ願ヒマシテ、全部ノ質疑應答ヲ終リマシタ所デ元ニ戻リマシテ、國民體力法中改正法律案ヨリ漸次各案ニ付キマシテ討論及ビ採決ヲ致スコトニ致シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ、御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイモノト認メマス、ソレデハ國民體力法中改正法律案ノ御質問ヲ御願ヒ致シマス

○子爵實吉純郎君 此ノ國民體力法ガ施行サレマシテカラ、今迄ノ施行サレタ成績ガ參考ニ出テ居リマス、ソレニ依リマスト可ナリ精密ニ御調ニナッテ居リマスケレドモ、結核ノ患者ヲ御發見ニナリ、ソレヲ色々治療ノ指導ナドヲナサツタコトト思ヒマスガ、狀態ハドウ云フ狀態デゴザイマスカ、一應聞キタイト思ヒマス

○政府委員(中村敏之進君) 體力法ノ施行狀況ニ付キマシテハ御手許ニ其ノ概要ヲ配付致シマシタガ、御承知ノ通り十五年度、十六年度兩回施行シタノデアリマスガ、其ノ中ノ十五年度ハ最初ノ年デアリマシテ、其ノ集計ガ遅レマシタ結果漸ク此ノ程大體

ノ資料ガ集リマシテ、其ノ概略ノ統計ダケ出來タヤウナ狀態デアリマスノデ、尙是等資料ニ依リマシテ専門ニ詳シク調査シナケレバ正確ナ結果ヲ得ルコトハ出來ナイノデアリマス、從ヒマシテ目下ソレノ專門家ノ手ニ依リマシテ詳細ナル調査ヲシテ居リマスノデ、何レ纏リマシタラ御報告スルコトト存ジテ居リマス、只今御尋ノ點ニ付キマシテモ大體ノ所ハ印刷物ニ記載シテアリマスルガ、其ノ中デ結核ニ關シテ特ニ考ヘマスルコトハ此ノ陽性率ノ發見デアリマスルガ、陽性率ノ發見ニ付キマシテハ大體當初豫想シテ居ッタ程度ノモノガ發見サレテ居リマス、然ルニ患者ノ數ハソコニモアリマスル通りニ、二・二二パーセントト云フヤウニ比較的率ガ少イノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハドウモ検査ノ方法ニ付テ更ニ再檢討スル必要ガアル、即チ今後「エックス線」間接撮影ヲ徹底ニ採用スルコトニ依ッテ精密検査ヲ徹底サセル、精密ニナレバナリ程患者ノ數ハヨリ以上ニナルノデハナイカト云フヤウニ考ヘラレル譯デアリマス、故ニ厚生省ノ中デモ簡單ナ検査ヲシテ居リマスルガ、其ノ際ノ患者ノ發見率ト云フモノハ、二・二二パーセントニ比較致シマシテ更ニ非常ニ多イノデアリマス、大體サウ云フヤウナ點、其ノ他色々材料カラ考ヘマシテ、患者ノ發見率ハ餘リニ小サ過ぎルデハナイカ、斯様ニ考ヘマシテ早速此ノ點ハ改善シナケレバイカヌト云フコトデ、十七年度ノ豫算ニ於キマシテモ検査ノ

内容ヲ充實スル、斯ウ云フ方針ノ下ニ若干ノ經費ヲ増スコトニ致シテ居リマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ大體書類ニシテ差上ゲデアリマスルガ、尙モウ一點陽性率ノ發見デアリマスルガ、其ノ點ニ付キマシテハ結核ノ死亡率ノ高イ所ガ自然陽性率モ高イト云フヤウニ一應考ヘラレル、例ヘバ福井縣ノ如キ死亡率ノ高イ所ハ陽性率モ高イ筈デアリマスルガ、此ノ表ニ依リマスルト云フト、福井縣ガ最高デハアリマセヌノデ、最高ノ方ハ寧ろ大阪デアリマス、其ノ次ハ京都、東京、神奈川、愛知、福井ガ第六位ト云フヤウナ結果ニ相成ッテ居リマス、其ノ點チヨット御參考ニ申上ゲテ置キマス、大體左様ナ狀況デアリマス

○子爵實吉純郎君 私モ此ノ發見率ノ少イノヲ、「エックス線」光線ノ間接撮影ト云フコトガ近頃盛ニ用ヒラレルヤウニナリマシテ、段々陽性ノ發見率ガ高クナッテ居ルト云フコトヲ承知シテ居リマスガ、是ハ矢張り專門ノ技術ヲ習得シタ人ガ澤山居ナイト、是ガウマク行カナイダラウト思ヒマス、此ノ點ヲ能ク御留意ニナッテ、十分之ヲ一ツ徹底サセルヤウニシテ戴キタイト存ジマス、ソレカラ此ノ結核ガ感染スルノハ、結核菌ヲ外ヘ出ス患者、之ノ取締ガ一番必要ナコトデアラウト思ヒマス、若シサウ云フ者ガ發見サレタ場合ニ十分隔離スルコトカ、サウ云フコトガ出來マスレバ宜イノデアリマスガ、今何分ニモ病床ガ足りナイ、サウ云フ患者ヲ矢張り外デ治療サセテ居ル、ソレニ對シテノ取締ト云フコトガ徹底サレテ居ナイノデ、其ノ所ヲ十分ニ指導サレルナリ、其ノ喀痰ノ始末ヲ徹底ニサセルト云フ方法ニ付テ十分御考ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、其ノ方法ヲドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスルカ、伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 結核蔓延ノ理由トシマシテ、開放性ノ患者ガ世ノ中ニ散在シテ居リマスルコトガ、極メテ重大ナ意義ヲ有スルコトハ御言葉ノ通りデアリマシテ、其ノ危險ナル患者ヲ成ルベク隔離收容セムガ爲ニ、療養所ノ増設ヲ企畫シテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ此ノ度ノ政府ノ計畫ニ依リマシテモ、段々ト増設スルコトガ出來ルデアラウト思ッテ居リマス、尙國民體力法ノ検査ニ際シマシテモ、開放性結核患者ヲ發見致シマスレバ、成ルベク其ノ患者ノ危險ヲ減少致シマスルヤウナ措置ヲ執リ、出來マスル限りハ結核療養所ニ入所セシムルコトモ考ヘマスルシ、又家庭ニ於テ療養セネバナラス場合モ、是モ適當ニ指導致シマス、是ハ保健所等ノ活動ニ依リマシテ、尙其ノ他衛生當局ノ指導等ニ依リマシテ、其ノ點モ注意致シタイト存ジマス、喀痰其ノ他病毒ニ汚染サレテ居リマスルモノノ取締ニ付キマシテモ、從來モ多少考慮シテ居ルノデゴザイマスガ、マダ十分デナイト存ジマスカラ、追々結核豫防法ノ改正等ニ際シマシテ十分考慮シタイト考ヘテ居リマス

○子爵實吉純郎君 マダ街路ニ喀痰ヲ吐キ散ラス習慣ガドウシテモ止ラナイヤウデア

リマスガ、甚ダシイ時ハ「ブラット・ホーム」デアレ、電車ノ中デアレ、喀啞ヲ吐イテ、ソレヲ其ノ儘ニシテ置クコトヲ能ク見マスガ、ソツチノ方ノ取締ハモウ既ニ出テ居ル管デアリマスガ、警察ノ方デ何故アレヲモット十分ニ、取締ラレナイノデセウカ、厚生省ノ方カラデモソレヲ十分御傳達ニナツタラ如何デアリマセウカ

○政府委員(高野六郎君) 喀啞ノ取締ハ、多數、多衆ノ集合致シマスルヤウナ所デハ左様ナコトガナイヤウニ取締規定ガゴザイマスルシ、又六大都市ノ如キ地方ニ於キマシテハ、警察命令ニ依リマシテ、往來ノ放啞ヲ禁止スル規則ニナツテ居ル所モゴザイマス、尙不備ノ點モゴザイマセウガ、段々左様ナ取締規則モ整備スルコトニ努メタイト存ジマスルシ、又折角規則ガアリマシテモ多少其ノ勵行ニ緩カナ所ガアルカモ知レヌト思ヒマスノデ、十分氣ヲ附ケルコトニ致シタイト思ヒマス

○男爵山根健男君 只今ノ御質問ニ關聯シテチヨット伺ヒタイト思ヒマス、只今指導其ノ他必要ナル措置ヲ爲シタト云フ點ニ付テ概略御説明ガアツタノデアリマスガ、大體指導其ノ他必要ナル措置ヲ必要トスル對象ハ、主ニ貧困者ガ多イノデハナйкаト考ヘルノデアリマス、其ノ貧困者ノ爲ニ執ラレマシタル處置ニ付テ使ハレタル費用トカ、其ノ他件數ニ付テノ御統計ガアリマスレバ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中村敬之進君) 只今指導其ノ他必要ナル措置ニ關聯シマシテ、體力法ノ關係ニ於キマシテハ、第十二條ニ依リマシテ療養ノ處置命令ヲ發シマス、サウシテ若シ當事者ガ貧困ナ場合ニハ、體力管理醫ニ就

キマシテ療養ノ指導ヲ受ケサセルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ十五年度ノ療養ヲ申上ゲマスルト、只今申シマシタ療養ニ關スル處置命令ヲ受ケタ者ガ、結核ニ付テハ一萬二千三百五十七名アリマス、サウシテ更ニ貧困ノ爲ニ療養ノ指導ヲ受ケタト云フ者ガ、結核ニ付テハ九百八十六人ト云フコトニ相成ツテ居リマス、此ノ療養ノ指導ハ前ニ申シマシタヤウニ、既ニ療養シツツアル者ニ付テハ無論行ヒマセヌノデアリマシテ、療養ノ方法ヲマダ講ジテ居ラス、而モ貧困デアツテ十分療養ガ出來ナイト云フ者ニ對シテ行フノデアリマス、之ニ要シマシタ經費ノ點ハ、ハッキリマダ集計シテアリマセヌノデ不明デアリマスガ、人數ハ、療養ノ指導ヲ受ケタ者九百八十六名、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○男爵山根健男君 只今經費ハ御分リニナラナイト云フ御話デゴザイマシタガ、結核患者ノ治療ニ要スル費用ト云フノハ、相當一人當リ莫大ナモノデヤナйкаト思ヒマス、將來此ノ改正案ニ依リマシテ益、其ノ處置、又適當ナ施設ヲ爲スコトニ力ヲ御入レニナルナラバ、十分從來ヨリハ餘計ノ豫算ヲソレニ御取リニナツテ居ルダラウト考ヘマス、ソレカラ其ノ豫算ヲドウ云フ風ニ其ノ方面ニ御使ヒニナルカ、内譯ナドモ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中村敬之進君) 體力法ノ第十二條ニ於キマスル療養ノ指導ト云ヒマスノハ、療養其ノコトヲ行フト云フコトデアリマセヌノデ、療養ソレ自體ハヤラヌノデアリマス、療養ニ關スル指導ヲスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、貧困者ハ申

請ヲ致シマシテ療養ノ指導ヲ受ケル、サウシテ療養ノ指導ヲ受ケルト云フノハ、國民體力管理醫ノ所ヘ行キマシテ、ドウ云フヤウニ療養シタラ宜イカト云フ指導ヲ受ケルノデアリマス、療養自體ニ付キマシテハ、今療養ノ體系モ段々整理シテ行キマスノデ、現ニ今回提案致シマシタ醫療法ノ醫療團等ニ於テモ、其ノ療養ノ徹底ヲ圖ルコトガ出來ララウト思ヒマス、其ノ療養指導費ニ付キマシテハ、十七年度ノ豫算デハ四十六萬八千圓程計上シテ居ルノデアリマス、是ハ一部花柳病ノ方ノ關係ガアルノデアリマスルガ、此ノ經費ニ依リマシテ結核患者ノ延人員約二十七萬人ノ指導ガ出來ル、一回ノ指導ハ一圓五十錢位ノ單價ニ致シテ居ルノデアリマス、療養ノ指導ト申シマスレバチヨット言葉ガムツカシウゴザイマスルガ、具體的ニ申シマスルト簡單ナ消毒劑ヲヤル、或ハ體溫計ヲ當テルトカ、或ハ簡單ナ印刷物ニ療養ノ心得ヲ書イテ渡ストカ、又極メテ應急對症のナ簡單ナ處置ヲスル、結核患者ニ假ニ喀血シタ者ガアルト云フ時ニ、注射ヲスルト云フガ如キコトヲ療養ノ指導ト申シテ居ルノデアリマス

○子爵高木正得君 本法ノ第二條ノ所フ今度ハ御改正ニナリマシテ、年齡ガズット延長ニナリ、且又女子迄加ツタノデアリマス、之ニ依ツテ何人位ノ體力検査ヲ御行ヒニナル目標ヲ御定メニナルノデスカ

○政府委員(中村敬之進君) 今回ノ改正ニ當リマシテ、第二條、即チ被管理者ノ範圍ヲ定メタ規定ヲ改メマシテ、其ノ範圍ヲ擴張致シテ居ルノデアリマスルガ、此ノ第二條ニ對シマシテ、附則ニ依リマシテ更ニ其

ノ範圍ヲ限定スルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、限定ハ從來モ矢張り致シテ居ツタノデアリマシテ、先ツ第一ニ女子ヲ當分ノ間除イテ居リマス、尙男子ニ付キマシテハ十五歳以下ノ者ヲ除イテ居ルノデアリマシテ、矢張り改正法ニ於キマシテモ左様ナ限定ヲ致サウト考ヘテ居リマス、其ノ結果ト致シマシテ、結局當分ノ間被管理者ノ範圍ハ男子ノミ、而モ是ハ十五歳カラ年齡滿二十六歳迄ノ者ニ限ルコトシテ、此ノ人數ハ約七百二十萬人バカリニナルノデアリマスルガ、其ノ中デ從來詰リ年齡二十年未滿ノ者ダケヤツテ居リマシタノデアリマスガ、是ハ三百二十萬人ト云フ程度デアツタノデアリマス

○子爵高木正得君 モウ二點伺ヒタイノデスガ、ソレハ第四條ノ第一項ノ但書デゴザイマスガ、今度ソレダケガ付イタノデアリマスガ、「但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」其ノ命令ヲ以テ定ムル場合ト云フノハドウ云フコトヲ目標トシテイラシヤイマスカ

○政府委員(中村敬之進君) 第四條第一項ハ、被管理者ノ中カラ更ニ検査ヲ受クルヲ要スル者ヲ定メタノデアリマスガ、今回男子ニ付テ二十六年未滿ノ者迄擴張致シマシタ結果、是等ノ者ニ付キマシテハ其ノ間ニ徴兵検査ヲ受ケル場合ガアルノデアリマス、徴兵検査ヲ受ケル場合ニ於キマシテハ、極ク其ノ検査ニ接近致シマシタ本法ノ體力検査ダケハ免除シタラドウカ、詰リ徴兵検査トダブツデヤル必要ハナイノデアアル、斯ウ考ヘマシタノデ、此ノ命令ニ於キマシテハ、左様ナ趣旨ニ於テ除外例ヲ規定シテ居ルノ

デアリマス、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○委員長(公爵島津忠承君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○男爵高木喜寛君 此ノ法案ハマルデ病氣ガ起ルコトヲ前提トシテ居ッテ、之ヲ治スコトニ重キヲ置イテ設ケラレタヤウナ案ニ思ハレマスガ、私ハ體力ヲ向上サセルニハ病氣ガ起ラナイヤウニスル方ガ勝レリト思フノデアリマス、從ッテサウ云フヤウナ點ニ付テ政府ニ於テハ御考ハナイノデアリマセウカ、例ヘバ運動競技トシテ「スポーツ」ヲ獎勵スルトカ、又ハ豫防醫學ノ發展ヲ圖リ、一般衛生思想ヲ普及スルト云フヤウナ點ニ付テ何カ御考ガアリマスルナラバ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(中村敬之進君) 至極尤モナ御尋ト考ヘマスガ、大體ニ於テ體力法中ニ現レテ居リマスル規定ヲ一見致シマスレバ、既ニ或病氣ニ罹ル、之ヲ治療スルコトガ主ナル規定ノヤウニ見エナイデモアリマセヌガ、併シ仔細ニ考ヘマス、第一ニ體力検査ニ致シマシテモ、身體検査或ハ機能検査ト云フヤウナコトヲ、疾病條件診ト併セテヤッテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ検査ノ結果ニ基キマシテ、十條カラ十一條、十二條ト色々ノ措置ヲ講ズルヤウニナッテ居リマス、又今回追加致シマシタ第十二條ノ二ト云フヤウナ規定モアルノデアリマス、大體極ク大難把ニ申上ゲマス云フト、體力検査ノ結果被管理者ノ中ニハ病人モアリマスシ、健康ナ人モアリマセウ、又其ノ中間ニ位スルヤウナ人モアルノデアリマス、病人ニ付テハソレゾレ其ノ病氣ニ應ジマシテ措置ヲ致シマシタガ、其ノ中間ニ位スルマダ發病シテ居ラ

ナイ、併シ健康ト云フ程度デモナイト云フヤウナ者ニ付キマシテハ、主トシテ豫防的ナ措置、或ハ體力ヲ修鍊スルト云フヤウナコトデ、現ニ地方ニ於キマシテハ只今色々修鍊會ト云フモノヲ催シテ居リマス、現ニ數萬人ノ者ガ修鍊ヲ受ケテ居リマス、其ノ結果ハ非常ニ宜シイノデアリマス、期間ハ僅カ一週間デアリマシテ、當初ハ一週間位ナ修鍊デハ餘リ效果ハアルマイト云フヤウナコトガ考ヘラレナイデモアリマセヌデシタガ、實際ニヤツテ見マス云フト、中ニハマルデ生レ更ッタヤウナ人モ出テ來ルヤウナ成績ヲ擧ゲツ、アリマシテ、此ノ點ハ喜ンデ居ルヤウナ狀況デアリマス、此ノ修鍊會ノ如キモノハ、將來益、之ヲ充實シ、發展サシテ行キタイト考ヘテ居リマス、是ハ中間ニ位スル人ニ對スル扱デアリマスガ、更ニ健康ナ者ニ付キマシテハ、矢張り其ノ人ノ健康ニ應ズル所ノ指示指導ヲヤリ得ルヤウニ現在ナッテ居リマスガ、更ニ今回ノ追加致シマシタ第十二條ノ二ニ於キマシテハ、病人ニ對シテノ措置モ出來マセウガ、積極的ニ色々ノ事柄ガ指示出來ルノデアリマス、或ハ環境ノ改善デアルトカ、榮養ノ改善デアルトカ、或ハ先ニ申シマシタ虛弱者ニ付キマシテ修鍊ノ施設ヲスルト云フヤウナコトモ、是デヤツテ行ケルノデアリマス、サウ云フヤウニ各般ノ爾後處置ヲ致シタイト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵高木喜寛君 先ヅ「スポーツ」ノコトニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス、私ノ聞ク所ニ依リマス、今後ハ學校ト學校トノ競技ハ獎勵スルガ、學生ヲシテ外ノ者ト一緒ニ競技ヲスルコトハ御止メニナルヤウニ聞イテ居リマス、一體運動ハ體力向上ヲ圖ル爲ノ最モ適當ナ方法デアルト思フノデアリマス、「スポーツ」ハ一體ドノ「スポーツ」デモ水準ヲ高メルコトヲ目的トシテ皆競技ヲシテ居ルノデアリマス、個々ニ競技ヲヤリ、シマヒニハドウシテモ全國ノ大會ト云フモノヲヤツテ、競技ノ向上ヲ皆圖ッテ居リマスガ、若シモ學生ガ之ニ加ハルコトガ出來ナクナルト云フト、全國大會ト云フモノハ出來ナイト云フヤウナコトニナリマスガ、ドウ御考ニナリマスカ

○政府委員(武井群嗣君) 只今御尋ノ學生ノ體育運動ニ參加スル件ニ付キマシテハ、主トシテ文部省ノ與ル所デゴザイマス、即チ御承知ノ通り學校ニ於ケル體育運動ハ文部大臣ノ管轄ニ屬シ、又一般ノ體育運動ハ厚生省ノ管轄ニ屬スルノデアリマスガ、最近兩省ノ關係ヲ緊密ニ致シマシテ、總テ具體的ノ事例ニ付テ連絡ヲ執ッテ指導ヲシテ居ル譯デアリマス、只今御尋ノ學生ノ對校競技ヨリ一步出マシテ、外部トノ運動競技ニ參加スルト云フ問題ニ付キマシテハ、私共ノ存ジテ居リマスル範圍ニ於キマシテハ、文部省ニ於キマシテモ同様ナコトハ致シテ居ラナイヤウデゴザイマス、又現ニ厚生省デ主催シテ居リマスル明治神宮國民體育大會等ニ、文部省ハ進ンデ學生生徒ヲ參加セシメテ居ル狀況デアリマス、學生ガ學生以外ノ者ト運動競技ヲスルコトヲ禁ズルヤウナコトハナカラウト存ジテ居リマス

○男爵高木喜寛君 實ハサウ云フ御尋ヲ致シマシタノハ、私自身「ラグビー」會長トシテ「ラグビー」ノ方ノ監督ヲシテ居ルヤウナ譯デスケレドモ、先月「ラグビー」ノ全國大會ヲ致シタイト思ッテ許可ヲ願出タ處ガ止メラレタノデアリマス、而モソレハ學生ノ

授業ニ障ル、障ルト云フナラバマダシモデアリマスガ、理由トシテハ交通妨害ノ爲、詰リ關西カラ東京ニ來ルノニハ汽車ヲ利用シナケレバナラヌノデ、交通ノ妨害ニナルト云フヤウナ理由止メラレタノデアリマスガ、唯不思議ナコトニハ、其ノ後學生ノ對抗試合關西ノ大學ノ者ガ東京ニ參リマシタノハ禁ゼラレナカッタノデアリマス、サウ云フ矛盾シタコトガアルノデアリマスガ、ソレハドウ解釋シタラ宜シイノデスカ

○政府委員(武井群嗣君) 詳細ハ文部省ノ政府委員カラ御答ヘスル方ガ適當カ知レマセヌガ、便宜私ノ存ジテ居リマスル點ダケ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、御承知ノ通り文部省ニ於キマシテハ、學生生徒ノ體育運動ニ付テ一ツノ標準ヲ立テマシテ、最近學徒體育振興會ナルモノヲ設立サレタヤウデアリマス、今後ニ於キマシテハ文部省ト一體トナリマシテ、學徒體育振興會ニ於テ色々ト學徒ノ體育運動ニ付テノ指示、統制ヲ致ス方針ノヤウデアリマス、一面昨年ノ夏時局ノ緊迫ト之ニ伴フ交通機關ノ統制ト申シマスカ、色々ノ計畫ヲ立テル上ニ於キマシテ、多數ノ者ヲ一地方ニ集メルト云フコトハ極力避ケネバナラスト云フヤウナ問題ガアリマシテ、昨年ノ夏以來全國的ニ集ルヤウナ運動競技ニ付キマシテハ努メテ之ヲ避ケル方針ヲ執ル、出來ル限り地方ニ於テ會合スルヤウニ指導シテ參ッテ譯デアリマス、此ノ點ハ文部省デ抑ヘテ居リマスシ厚生省デモ抑ヘテ居ッテ譯デアリマス、一面學校ノ體育ニ付キマシテハ無條件ニ之ヲ許スノデハナクシテ、ソレハ文部省ノ承認ヲ得サセテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマシテ、恐ラクソレ等ノコトカラ致シマシ

テ、具體的ノ問題ニ付キマシテ文部省ガ措置サレルト存ジマスガ、御話ノコトニ付キマシテハ更ニ文部省ニモ傳ヘマシテ、必要ニ依リマシテハ文部省ノ政府委員ヨリ御答ヘスルヤウニ致シタイト存ジマス

○男爵高木喜寬君 次ニ衛生思想ノ知識ノ普及ニ付テチヨット御伺ヒシタイノデアリマス、現下我が國ニ於キマシテハ、結核ヲ撲滅スルコトハ最大急務ノ一ツデアリマスガ、今回今迄ノ二萬「ベッド」ヲ十萬「ベッド」ニ殖ヤシテ、サウシテ結核ノ撲滅ヲ圖ルト云フ御計畫ハ非常ニ結構ナコトと思ヒマスガ、私ハソレデモモダ十分ハナイト思フノデアリマス、モット徹底的ニヤル必要ガアルト思フノデアリマス、併シ豫算等ノ關係上、急ニ殖ヤスコトモ出來ナイト思ヒマスノデ、一方之ヲ補フ爲衛生思想ヲ一般ニ普及サセルヤウニシタナラバ效果ガアルト思フノデアリマス、一體今我が國國民ノ衛生思想ハ割合ニ低イノデアリマス、例ヘバ結核ニ對シマシテモ、結核ト云フモノハ唯恐ロシイ病氣デアアルガ、之ヲ早クサヘ診斷ガ出來レバ、治療ヲスレバ治ルト云フヤウナコトハ殆ド考ヘナイヤウデアリマス、ソレ故ニ此ノ點ニ付キマシテ十分御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○中川望君 此ノ體力検査ノ統一、ソレカラ適正ト云フコトガ大事ナコトデアラウト思フノデアリマスガ、此ノ管理ハ只今十分ニ適任者ヲ得ラレテ居ルコトハ思ヒマスガ、此ノ實施ノ結果、何カ初メノヤリ方ヲ改メラレタカ云フヤウナコトガアリマスデセウカ、ソレカラ一日ニドレ程ノ人數ト云フヤウナコトニ付テ實際ノコトヲ參考ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(中村敬之進君) 大體現在迄ノ體力管理ハ機構ノ方面カラ申シマスレバ、地方長官ノ下ニ國民體力管理委員ト云フモノガ任命サレマス、検査ノ機關ト致シマシテ、市町村長及事業場等ノ事業主或ハ管理人、或ハ學校ノ校長、幼稚園ノ園長ト云フヤウナ者ガ検査ニ當ッテ居ルノデアリマスガ、大體此ノ管理ト云フコトノ徹底ヲ圖リマスルニハドウシテモ豫防的ナ方面、保健ノ方面ニ力ヲ入レル必要ガアリマスルノ出来ルダケ早ク、保健所ノ普及ヲ圖リマシテ、現在目標ト致シテ居リマスル五百五十箇所ノ保健所ヲ完成スル、更ニ之ニ必要ナ支所ヲ作リマスルト云フヤウナ從來立テテ居リマシタ目標ヲ完成致シマシテ、所謂保健網ト云フモノヲ、保健ノ指導網ト云フモノヲ確立スルト云フコトニ致シマシテ此ノ保健所ヲ中心ニ其ノ下ニハ體力管理ノヤウナモノヲ付ケマシテ此ノ管理ノ仕事ヲシテ行ク、單ニ其ノ場合ニハ醫療バカリデナク、豫防的ナ、或ハ健康増進ノ方面ニモ力ヲ入レルト云フヤウナ工合ニ段々轉換シテ行クト云フコトガ必要デハナイカト考ヘテ居リマス、其ノ爲ニ現在ハ保健所モマダ二百箇所ニモ足リマセヌケレドモ、ボツ／＼保健所ト體力管理トノ關係ヲ付ケテ行クガ宜イト云フ考カラ、今回ノ改正ニ於キマシテモ保健所ノ長ニ地方長官ノ權限ノ一部ヲ委セルト云フヤウナ規定ヲ設ケテ其ノ途ヲ開イタ譯デアリマス、從ッテ將來ハ此ノ保健所ガ段々此ノ仕事ノ中心ニナッテ行クト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、尙市町村等ニ於キマシテハ、此ノ仕事ヲ致シマス上ニ於キマシテ相當人手ヲ要スルノデアリマス

ガ、特ニ今回ノ被管理者ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、將來モ益、是ガ擴張サレテ行クト云フコトニナリマスレバ、事務的ニハ餘程負擔ガ増大シテ來ルト云フコトガ豫想サレルノデアリマス、デ、ソレニ付キマシテハ若干ノ事務ニ付キマシテハ、從來ヤッテ居ッタコトノ事務ヲ簡略ニシヤウト云フコトモ考ヘテ居ルノデアリマス、差當ッテノ範圍ヲ擴張ニ付キマシテハ、此ノ程度デアレバ先ヅ先ヅ市町村トシテ其ノ負擔ニ堪ヘルト考ヘテ居リマスルガ、更ニ今後範圍ヲ擴張スルト云フコトニナレバ、其ノ事務負擔ノ點ニ於テ相當ノ工夫ヲ要スルノデアリカト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵高木正得君 モウ一點伺ヒタイコトガ出來マシタノデ伺ヒマスガ、本法ノ罰則ニ屬スル所デゴザイマスガ、昭和十五年ニ初メテ御始メニナッタノデ、御當局ノ方モ非常ニ色々御考ヘナッタ居リマセウガ、隨分相手方ノ方モ慣レマセヌコトナノデ、相當ニハ故意デナクシテ爲サレタモノガアルノデアリカト思ヒマスガ、參考迄ニ一ツ成績ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中村敬之進君) 罰則ノ適用ササレタ結果ニ付テノ只今資料ヲ持合セテ居リマセヌガ、大體ノ感じデハ罰則ノ適用ヲ受ケタ者ハ現在ノ所ナイヤウデアリマス、ト申シマスノハ、申ス迄モナク此ノ體力管理ト云フコトハ元々被管理者乃至其ノ保護者ト云フヤウナ者ガ體力向上ノ必要性ヲ自覺シ、認識シテ自分ノ體力ヲ増進サセルト云フ氣持デ動カナケレバ管理ノ效果ハ擧ラナイノデアリマシテ、政府ガ管理シマスルト云ヒマシテモ、ソレノミヲ以テシテハ到底所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト云フ

考カラ、此ノ法律ニ於キマシテモ罰則ノ規定ハ最小限度ノモノニ止メテアルノデアリマス、法律ヲ作ル自體デモ、サウ云フ氣持デ臨ンデ居ルノデアリマスカラ、之ガ運用ニ付テモ出來ルダケ指導的ニ御世話シテ、間違ノナイヤウニスルト云フ氣持デ當ッテ居ルノデアリマス、其ノ結果自然罰則ヲ實際ニ適用シタ例ガナイ、斯ウ云フ狀況デアリマス

○松井茂君 チヨット乳幼児ト結核問題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマスガ、先刻來御質問モアリマシタカラ、或ハ重複ニナルカモ知レマセヌガ、今更申上ゲル迄モゴザイマセヌガ、人口ノ増殖上ニ、殊ニ時節柄乳幼児ノ問題ト結核療養ノ問題ガ、多年ノ非常ニ長イ問題デアリマスガ、愈々時局ガ時局ナノデ政府モ餘程御考ヘナッタ、此ノ二ツノ點ニ非常ニ重キヲ御置キニナッタコトハ當然過ギル問題デアラウト思ヒマス、併シ其ノ背景ニハナカ／＼容易ナ問題デハナイノデ、根本問題ノ豫防問題、教育問題、國土經營ノ問題、色々ノ大キナ問題ガ含マレテ居ッテ、ソレト相並ンデ其ノ問題ハ解決セナケレバナラスノハ今更言フ迄モナイノデアリマス、ソコデ私ハ承ッテ見タイト思フノハ、今御返事ガアツカ知レマセヌガ、乳幼児ノ對策ガ近來濟生會ヲ初メ、大分乳幼児或ハ結核ノ方デスガ、乳幼児ノ問題ハ餘程政府モ、能ク分リマセヌガ、何ダカ都市ナシノ方ノ乳幼児ノ問題ハ、大分力ガ入ッタノデアリカト云フヤウナ感ニ打タレテ居ルノデアリマス、果シテドウ云フ實情デアアルカ、詳シイコトハ存ジマセヌガ、併シ農村ノ結核問題ハマダ／＼非常ニ微温的デアラウト思フノデアリマス、是ハ分リ切ッ

タコトデア、ソレデモウ昔カラ此ノ早期
診斷ト云フコトハ餘程政府モ御獎勵ニナリ、
我々モ出來ルダケヤッテ來タ積リデアリマ
スガ、是ハモウ問題ニナラナイ、益、早期診
斷ニ付テオヤリニナルノハ是ハモウ無論ノ
コトデアリマスガ、更ニ定期ノ診斷、石川
縣ガ我が國デ一番結核ガ多イト言ハレテ
居リマスガ、此ノ結核ノ問題ト乳幼児ノ問
題ガ矢張り關係シマスカラ、モウ少シ混線
シマスガ、兩方混ゼテ御話シ致スノデアリ
マスガ、ソレデ此ノ農村ノ乳幼児ノ問題ヲ
餘程具體化セナケリヤナラスト思フノデア
リマス、御氣付ノ點デ萬々アラウト存ジマ
スガ、モット具體的ノ方法ガ畫策ガ出來テ居
レバ承ツタラ幸ト思フノデアリマス、ソレカ
ラ今ノ結核ノ問題デアリマスガ、ドウモ石
川縣等ハ全國デ非常ニ有名ナモノデアッタ
ト云フコトハ、モウ夙ニ本省デモ分ッテ居ル
ノデアリマスガ、存外石川縣ノ先輩等ガ、
惡口ヲ言フノデハナイノデアリマスルガ、
サウ云フ重大ナル問題ハ徹底シテ居ナカッ
タ、是ハ大分前ノ御話デス、私ガ或先輩ノ
一人ニ對シテ、アナタ斯ウ云フナンデアッテ、
陛下カラ地方長官ニ御下問ガアツタ、サウ
デスカ、ソレハ知リマセスノデト言フテ、私
モビックリシタ、ソレデ石川縣ハ承レバ、近
來ハ大分地方長官並ニ本省デモ御氣付ニナ
ッテ、或場所ヲ擇ンデ定期ノ検査モナサツタ
承ツテ居リマスガ、大變結構ノコトト思
フノデアリマス、サウ云フ工合ニ、餘程
定期ノ検査迄御進ミニナラナケレバナラ
スモノダト思フノデアリマスガ、ソレ等
ニ對スル具體的ノ御計畫ガドウナッテ居ル
ノデアリマスガ、更ニ又乳幼児ノ問題デモ、
結核ノ問題デモ、兩方ニ通テデアリマスガ、

此ノ榮養問題ガ大分佐伯博士等ガ御盡力ニ
ナッテ、内務省ノ時代カラ大分榮養問題モ、
政府モ御氣ヲ御付ケニナッテ來タノデアリ
マスガ、是ハ斯ウ云フ時局デアアルノデ、隨
分子供ノ榮養ト云フコトニ對シテハ、政府
モ餘程御力ヲ御入レニナッテ居ルヤウデア
リマスガ、是ガ並ビ立タヌ限リハ此ノ問題
ノ解決ハ出來ヌコトニナリマスガ、斯ウ云
フ點ニ付テドウ云フ御實況デアリマセウカ
ト云フコトヲ承リタイ、最後ニモウ一ツ承ッ
テ見タイノハ、乳幼児デモ結核デモデアリ
マスガ、藥ノ問題デアリマス、是ガ醫藥制
度調査會ニモ大分出マシタガ、最近ハ益々
注射ノヤウナモノモ思フヤウニ出來ナイト
カ、藥ガ古クナッテ工合ガ惡イトカ、ソレモ
適當ニ政府ハ方法ヲ講ジテ居ルトカ云フヤ
ウニ善處サレテ居ルヤウデアリマスガ、材
料ガナケレバ仕方ガナイ、斯ウ云フコトモ
關聯スルノデ、序ニ承ッテ見タイト思ヒマス、
以上ノ點ヲ一ツ御答ヘ願ヒマス

○政府委員(武井群嗣君) 只今乳幼児ノ保
護ト併セテ結核ノコトニ付キマシテ色々ト
御話ヲ承リ、又御尋ヲ戴イタ譯デアリマス
ガ、早期発見スルコトノ必要ナコトハ御説
ノ通りデゴザイマシテ、更ニ其ノ上ニ定期
ニ検査ヲスルコトノ必要ナコトモ亦左様ニ
存ジテ居リマス、從ヒマシテ今同體力法ニ
於キマシテハ、體力検査ハ從來ハ一回デゴ
ザイマシタガ、今回必要ナル業態方面、
即チ工場、鑛山等ニ勤メテ居ル者ニ付キ
マシテハ、年ニ二回ノ定期ノ體格検査ヲ
スルト云フヤウナ風ニ規則ヲ改メヨウト
致シテ居ル譯デゴザイマス、乳幼児ニ付キ
マシテハ、日本ガ特ニ此ノ乳幼児ノ死亡率
ガ外國ト較ベテ著シク高クアリマスルノ

デ、此ノ死亡率ヲ速カニ低減サセナケレバ
ナラスト云フ譯デアリマシテ、ソレニ付キ
マシテ色々ト其ノ原因等ヲ調ベテ見マス、
多クハ乳兒ノ間ニ於テ、乃至ハ滿五歳ノ誕
生日ヲ迎ヘル迄ノ間ニ於キマシテ、是ハ先
天性虛弱ノ爲ニ、或ハ又冬感冒等ニ因ル肺炎
等ニ因リ、夏ハ又下痢、腸炎等ニ因リマシ
テ多クノ者ガ死亡スル譯デアリマス、之ニ付
キマシテ農村方面ニハ相當此ノ死亡率ガ高
クアリマス、政府デモ明年度ノ豫算ニハ乳
幼兒ノ保護ニ付キマシテ相當ノ費用ヲ計上
致シタ譯デアリマシテ、從來ハ乳幼兒ノ結核
檢診ヲ致シテ居タ譯デアリマスガ、更ニ
今回國民體力法ニ依ル體力検査ト致シマシ
テ、一層體力検査ヲ綿密ニ致シ、同時ニ初
メテ生レタ者ニ對シマシテハ、明年度ヨリ
新シク之ニ體力手帳ヲ交付シテ、サウシテ
健康ノ指導ヲシヨウト云フヤウナコトデ、
是等ノ豫算モ計上シテ居ル譯デゴザイマス、
一面斯様ナコトハ政府ノ力ノミヲ以テシテ
ハイカスコトデアリマスルノデ、專ラ恩賜
財團愛育會ガ主トナリマシテ、各地ニ乳幼
兒ノ保護指導ヲスル村等ヲ指定致シマシ
テ、之ガ保護ニ當ッテ居ル譯デアリマスガ、
愛育會ノ指定シテ居リマスル愛育村ノ成績
ハ非常ニ宜シイヤウデアリマス、尙又其ノ
本ニナリマスル妊婦ノ保健指導ヲ致ス必要
ガゴザイマスルノデ、明年ハ妊婦ニ付キマ
シテノ届出制度ヲ施行スルコトニ致シマシ
テ、一面ニ於キマシテハ其ノ妊婦ノ健康増
進、或ハ病氣ノ驅除ト云フヤウナコトニ付
キマシテノ身體検査、指導等ヲ致ス外ニ他
面ニ於キマシテハ、妊産婦ニ必要ナル品物
等ヲ特別ニ配給スルコトヲ考ヘテ居ル譯デ
ゴザイマス、更ニ乳幼兒ニ付キマシテモ、

又結核對策ト致シマシテモ榮養ノ必要ナコ
トハ仰セノ通りデアリマスルノデ、之ニ付キ
マシテハ色々ト物資ノ不足ノ際デアリマス
ケレドモ、今日現在日本ノ海、山、野ニア
リマスル物等ヲ出來ルダケ採リマシテ、サ
ウシテ此ノ不足ヲ充サセルヤウニ色々ト、單
ナル外國ヨリ入リマシタ知識ノミナラズ、日
本古來ノ經驗等モ活カシテ、出來ル限リ此
ノ榮養ノ改善及ビ改良ニモ當ラウト考ヘテ
居ル次第デアリマス、最後ニ藥ノ問題デゴ
ザイマスガ、是モ仰セノ通りデアリマシテ、
最近藥ニ用ヒマスル資材モ少クナッテ參ッ
ノデアリマス、一面ニ於キマシテハ、國內ニ
於キマシテ色々ト藥草ノ栽培等ノ獎勵モ致
シ、又政府ニ於キマシテモ是等ノ試驗等ニ
相當ノ費用ヲ計上致シマシテ、サウシテ國
内ニ於テ出來ル限リ必要ナルモノノ自給出
來マスルヤウナ方策ヲ立テテ居ル譯デゴザ
イマス、勿論是等ハ近時國交關係ヨリ起キ
タコトデゴザイマスルノデ十分ニハ參リマセ
ヌケレドモ、是等ノ事ヲ續ケテ參リマシタ
ナラバ、段々ト是等ノ不足ヲ補フコトカト
存ジテ居リマス、以上大要デゴザイマスガ、
尙必要ニ依リマシテハ他ノ政府委員ヨリ御
答ヘスルコトニ致シマス

○男爵山根健男君 段々承ッテ居リマス、
要スルニ此ノ國民體力法ノ中心ヲ成スモノ
ハ、ト申シマスガ、其ノ基本ヲナスモノハ結
局國民體力ノ検査ニアルノデヤナイカト思
ヒマス、其ノ後ノコトハ大體處置命令其ノ
他デ外ノ方ガササルヤウデアリマス、ソレ
ハ醫師法ノ改正トカ、醫藥團ノ改正ニ依ッ
テ段々ト改善サレテ行クモノダト思フノデア
リマス、結局此ノ重點ヲ成ス國民體力ノ檢
査ト云フ點ニ付テ過去ノ業績カラ拜見シマ

スト、甚ダ不十分ナ點ガ多イノデヤナイカ
ト思ヒマス、先ツ今ノ檢診ノ方法ニシテモ、
此ノ成績概要ノ中ニモ既ニ是ガ不十分デア
ルト云フコトヲ政府デハ申サレテ居ル、例
ヘバ集團檢診ニ「レントゲン」檢診ノ如キモ
ノヲシナケレバハッキリシタ數字ガ分ラヌ
ト云フコトデアリマス、又全國ノ結核死亡者
ガ私共ノ聞イテ居リマス所ニ間違ガアルカ
知レマセヌガ、十五萬アルヤウデアリマス、
サウスルト大體結核患者ト云フモノハ其ノ
十倍位デ百五十萬、サウ云フヤウナ數字カ
ラ考ヘテ見マス、結局五「プロ」位ニナル
ノデヤナイカト思ヒマスガ、是デハ二「プロ」
ナニガシデ半以下ノ數字シカ出デ居ラス
ト云フヤウナ狀態デアリマス、斯ウ云フコ
トヲ考ヘマス、現在ノ對象ニナッテ居リマ
ス十七歲カラ十九歲ノ檢査ダケデハ不十分
デアルト云フヤウナ現狀デハナイカト思ヒ
マス、勿論工場勞働者其ノ他ノ問題ガ緊急
ナコトデアアル爲ニ、二十歲カラ二十六歲迄
年齡ヲ擴張サレタ意味ハ分ルノデアリマス
ケレドモ、併シ斯ウ云フ基礎數字ト云フモ
ノガ將來ノ醫療問題其ノ他ノ根本問題ニナ
ルトスレバ、先ツ之ヲ十分ニ御考ニナッテ、
一步々々ヲ踏ミ締メテ行カレルト云フヤウ
ナ必要ガアルノデヤナイカト思フノデアリ
マス、又豫防ノ方カラ考ヘマス、先ツ二
十五歲、二十六歲迄ノコトヲ考ヘル前ニ、
先程御質問モアリマシタ乳幼児トカ、或ハ
小學校ノ生徒トカガ一番最初ニ感染シ易イ、
第一回ノ感染ノ時期ハ小學校ノ生徒ニ專ラ
多イト云フヤウナ話デアリマスノデ、斯ウ
云フ者ニ對シテ、例ヘバマダ研究中デア
ルカモ知レマセヌガ、「ビー・シー・ジョー」ノ注
射ヲスル、或ハ一箇年ノ強制休養ヲサセル

ト云フヤウナコトカラ、先ツ未然ニ十七、
十八、二十六歲迄ノ患者ノ殖エルコトヲ
防グト云フヤウナ色々考ヘ方モアルト思
フノデアリマス、要スルニ唯店バカリ擴
テ、内容ガチツトモ充實シテ居ナイト云フヤ
ウナコトデハ甚ダ心許ナイノデアリマスガ、
ソレニ對スルモウ少シ具體的ニハッキリシタ
將來ノ、數字ノ上カラデナクテモ宜シウゴ
ザイマスガ、御考ヲ御聽カセ願ヒタイト思
フノデアリマス

○政府委員(中村敬之進君) 御答ヘ致シマ
ス、今回ノ被管理者ノ範圍ノ擴張ノ理由ニ
付キマシテハ、大臣カラ提案理由説明ノ際
ニモ申上ゲタ所デアリマシテ、一ツハ第二
線ノ兵力、勞力ノ源泉ヲ培フト言ヒマスガ、
サウ云フ趣旨ガ一ツアルノデアリマス、第
二ハ何トシマシテモ現在結核患者ハ十五歲
カラ二十五歲、男子ニ付キマシテハサウ云
フ年齡層ニ最モ多イノデアリマス、結核對
策ガ今日一層強化サレナケレバナラナイ事
情カラ考ヘマシテ、此ノ年齡層ヲ見逃ガス
コトハ出來ナイト云フヤウナ考カラ、今回
ノ範圍ノ擴張ヲ致シタ譯デアリマス、併シ
ナガラソレニ付キマシテモ、從來ヤッテ居
ル管理ノ對象ニナッテ居ル管理其ノモノノ内容
ガ十分ニ行ッテ居ラナイデ、徒ラニ範圍ヲ擴
張スルコトデアッテハナラナイト云フヤウナ
コトニ付キマシテハ、我々モ全く同感デア
リマス、今回豫算ヲ十七年度ニ於テ増額シ
テ貫フコトニ相成リマシタガ、其ノ金ガ體
力管理ノ關係ニ於キマシテ約三百萬圓程度
ニナッテ居リマスルガ、其ノ半額以上ハ從來
ノ被管理者ノ管理ニ付キマシテ、其ノ内容
ヲ充實スルト云フ方面ニ大體振り向ケル考
デアリマス、改善ノ内容ニ付キマシテハ、

主トシテ檢査ヲ一層精密ニスルト云フ點ニ
アルノデアリマシテ、之ニ依ッテ從來ノ被管
理者ノ管理ニ付キマシテモ、更ニ徹底シタ
管理ガ出來ルノデハナイカト云フヤウニ考
ヘテ居リマス、其ノ事ヲ先ツ前提ト致シマ
シテ、今回更ニ範圍ヲ擴張スルト云フコト
ニ致シタ譯デアリマス、尙同ジ範圍ヲ擴張
スルニシテモモウ少シ年齡ノ下ノ層、特ニ
乳幼児等ニ付キマシテ範圍ヲ擴張シタ宜
イデハナイカ、或ハ小學校程度ノ年齡ノ者
ニ擴張シテ、サウシテ主トシテ此ノ計畫ノ
當初感染スル時期ヲ狙ッテ對策ヲ立テルト
云フコトガ必要デハナイカト云フ點モ我々
十分考ヘタノデアリマス、ソレニ付キマシ
テハ先程次官カラモ、御説明申上ゲマシタ如
ク、乳幼児ニ付キマシテハ今回ノ改正ニ當
リマシテ、極メテ略式デハアリマスルガ、
第六條ノ二ノ適用ニ依リマシテ乳幼児ノ檢
診ヲ行フ、サウシテ體力手帳ヲ交付スルト
云フヤウナ方法ヲ採リタイト云フヤウニ考
ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ乳幼児ヨリモ
上ノ層ニ付キマシテハ、主トシテ學生生徒
ノ年齡ニ該當スルノデアリマスガ、之ニ付
キマシテハ厚生省トシマシテハ、文部省ト
モ十分連絡ヲ執リマシテ、體力管理ト同様
ノ效果ヲ擧ゲテ行キタイト、斯ウ云フヤウ
ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

ネバナラヌ廣汎ナ問題デアルト存ジマスガ、
實際ノヤリ方トシマシテハ相當重點ヲ狙ヒ
マシテ、對策ヲ立テルコトガ適當カト考ヘ
テ居ル次第デアリマス、結核發病ノ年齡ハ
十五歲乃至二十五歲ノ邊デゴザイマスルカ
ラ、體力ヲ管理致シマスル對象トシテハ、
結核豫防ノ立場カラ申シマスレバ其ノ邊ガ
最モ重要デアラウト存ジマス、此ノ年齡ノ
者ヲ申ス迄モナク學術的ニ遺憾ノナイ檢査
ヲ行ヒマシテ而シテ、遺憾ノナキ指導措
置ガ出來マスレバ、將ニ發病セムトスル者
ハ之ヲ抑制致シマスルシ、初期ノ頃ハ
速カニ治療回復致シマスルシ、世ノ中ニ
病毒ヲ撒蔓シマスル者ハ隔離等ニ依リマ
シテ、其ノ危險ヲ避ケマスカラ、此ノ十五
歲乃至二十五歲、丁度此ノ度ノ國民體力法
ノ改正ニ依リマシテ狙フ所ノ又實施上ノ注
意ニ依リマシテ、之ヲ目標ト致サムトスル
ノデアリマスルガ、其ノ邊ニ十分ナル豫防
ノ方策ガ講ゼラル、コトハ一番大切デアリ
マシテ、此處ヲ若シ押ヘ得レバ自ラ其ノ後
ノ患者ノ發生モ止ル、現在アリマスル者モ
減少スルコトト思ヒマスルケレドモ、言フ
迄モナク、青年期、壯年期ノ體力ノ基礎ハ
矢張り少年時代デアリマスルカラ、學校在
學中ノ兒童生徒ニ付キマシテハ、學校衛生
ノ方面ニ於キマシテ、文部省ノ御努力ニ依
ッテ此ノ點ヲ遺憾ナキヲ期シタイト思ッテ居
リマス、結核豫防ノ學術上ノ仕事ガ、目下
特ニ研究セラレテ居リマスルケレドモ、是
モ其ノ實績ヲ綿密ニ調査研究致シマシテ、
其ノ應用ニモ手拔リノナイヤウニ致シタイ
ト存ジテ居リマス

○政府委員(高野六郎君) 結核豫防ニ付キ
マシテハ、國民ノ生活全般ニ互ッテ考慮セ

○男爵山根健男君 只今高野局長ノ御話、
一應御尤デ同感デアリマスガ、其ノ御話ノ

ト云フヤウナコトカラ、先ツ未然ニ十七、
十八、二十六歲迄ノ患者ノ殖エルコトヲ
防グト云フヤウナ色々考ヘ方モアルト思
フノデアリマス、要スルニ唯店バカリ擴
テ、内容ガチツトモ充實シテ居ナイト云フヤ
ウナコトデハ甚ダ心許ナイノデアリマスガ、
ソレニ對スルモウ少シ具體的ニハッキリシタ
將來ノ、數字ノ上カラデナクテモ宜シウゴ
ザイマスガ、御考ヲ御聽カセ願ヒタイト思
フノデアリマス

○政府委員(中村敬之進君) 御答ヘ致シマ
ス、今回ノ被管理者ノ範圍ノ擴張ノ理由ニ
付キマシテハ、大臣カラ提案理由説明ノ際
ニモ申上ゲタ所デアリマシテ、一ツハ第二
線ノ兵力、勞力ノ源泉ヲ培フト言ヒマスガ、
サウ云フ趣旨ガ一ツアルノデアリマス、第
二ハ何トシマシテモ現在結核患者ハ十五歲
カラ二十五歲、男子ニ付キマシテハサウ云
フ年齡層ニ最モ多イノデアリマス、結核對
策ガ今日一層強化サレナケレバナラナイ事
情カラ考ヘマシテ、此ノ年齡層ヲ見逃ガス
コトハ出來ナイト云フヤウナ考カラ、今回
ノ範圍ノ擴張ヲ致シタ譯デアリマス、併シ
ナガラソレニ付キマシテモ、從來ヤッテ居
ル管理ノ對象ニナッテ居ル管理其ノモノノ内容
ガ十分ニ行ッテ居ラナイデ、徒ラニ範圍ヲ擴
張スルコトデアッテハナラナイト云フヤウナ
コトニ付キマシテハ、我々モ全く同感デア
リマス、今回豫算ヲ十七年度ニ於テ増額シ
テ貫フコトニ相成リマシタガ、其ノ金ガ體
力管理ノ關係ニ於キマシテ約三百萬圓程度
ニナッテ居リマスルガ、其ノ半額以上ハ從來
ノ被管理者ノ管理ニ付キマシテ、其ノ内容
ヲ充實スルト云フ方面ニ大體振り向ケル考
デアリマス、改善ノ内容ニ付キマシテハ、

主トシテ檢査ヲ一層精密ニスルト云フ點ニ
アルノデアリマシテ、之ニ依ッテ從來ノ被管
理者ノ管理ニ付キマシテモ、更ニ徹底シタ
管理ガ出來ルノデハナイカト云フヤウニ考
ヘテ居リマス、其ノ事ヲ先ツ前提ト致シマ
シテ、今回更ニ範圍ヲ擴張スルト云フコト
ニ致シタ譯デアリマス、尙同ジ範圍ヲ擴張
スルニシテモモウ少シ年齡ノ下ノ層、特ニ
乳幼児等ニ付キマシテ範圍ヲ擴張シタ宜
イデハナイカ、或ハ小學校程度ノ年齡ノ者
ニ擴張シテ、サウシテ主トシテ此ノ計畫ノ
當初感染スル時期ヲ狙ッテ對策ヲ立テルト
云フコトガ必要デハナイカト云フ點モ我々
十分考ヘタノデアリマス、ソレニ付キマシ
テハ先程次官カラモ、御説明申上ゲマシタ如
ク、乳幼児ニ付キマシテハ今回ノ改正ニ當
リマシテ、極メテ略式デハアリマスルガ、
第六條ノ二ノ適用ニ依リマシテ乳幼児ノ檢
診ヲ行フ、サウシテ體力手帳ヲ交付スルト
云フヤウナ方法ヲ採リタイト云フヤウニ考
ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ乳幼児ヨリモ
上ノ層ニ付キマシテハ、主トシテ學生生徒
ノ年齡ニ該當スルノデアリマスガ、之ニ付
キマシテハ厚生省トシマシテハ、文部省ト
モ十分連絡ヲ執リマシテ、體力管理ト同様
ノ效果ヲ擧ゲテ行キタイト、斯ウ云フヤウ
ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

ネバナラヌ廣汎ナ問題デアルト存ジマスガ、
實際ノヤリ方トシマシテハ相當重點ヲ狙ヒ
マシテ、對策ヲ立テルコトガ適當カト考ヘ
テ居ル次第デアリマス、結核發病ノ年齡ハ
十五歲乃至二十五歲ノ邊デゴザイマスルカ
ラ、體力ヲ管理致シマスル對象トシテハ、
結核豫防ノ立場カラ申シマスレバ其ノ邊ガ
最モ重要デアラウト存ジマス、此ノ年齡ノ
者ヲ申ス迄モナク學術的ニ遺憾ノナイ檢査
ヲ行ヒマシテ而シテ、遺憾ノナキ指導措
置ガ出來マスレバ、將ニ發病セムトスル者
ハ之ヲ抑制致シマスルシ、初期ノ頃ハ
速カニ治療回復致シマスルシ、世ノ中ニ
病毒ヲ撒蔓シマスル者ハ隔離等ニ依リマ
シテ、其ノ危險ヲ避ケマスカラ、此ノ十五
歲乃至二十五歲、丁度此ノ度ノ國民體力法
ノ改正ニ依リマシテ狙フ所ノ又實施上ノ注
意ニ依リマシテ、之ヲ目標ト致サムトスル
ノデアリマスルガ、其ノ邊ニ十分ナル豫防
ノ方策ガ講ゼラル、コトハ一番大切デアリ
マシテ、此處ヲ若シ押ヘ得レバ自ラ其ノ後
ノ患者ノ發生モ止ル、現在アリマスル者モ
減少スルコトト思ヒマスルケレドモ、言フ
迄モナク、青年期、壯年期ノ體力ノ基礎ハ
矢張り少年時代デアリマスルカラ、學校在
學中ノ兒童生徒ニ付キマシテハ、學校衛生
ノ方面ニ於キマシテ、文部省ノ御努力ニ依
ッテ此ノ點ヲ遺憾ナキヲ期シタイト思ッテ居
リマス、結核豫防ノ學術上ノ仕事ガ、目下
特ニ研究セラレテ居リマスルケレドモ、是
モ其ノ實績ヲ綿密ニ調査研究致シマシテ、
其ノ應用ニモ手拔リノナイヤウニ致シタイ
ト存ジテ居リマス

○男爵山根健男君 只今高野局長ノ御話、
一應御尤デ同感デアリマスガ、其ノ御話ノ

中ニ一ツチヨット出マシタコトニ付テ御伺
シタイト思ヒマスガ、要スルニ後段ニ於
テ小學校ノ生徒並其ノ教員ナドノ體育ト云
フコトニ付テ、非常ニ此ノ結核豫防ノ問題ニ
關聯シテ居ルヤウナ御話デ、之ニ付テハ近
イ中ニ師範教育ノ改善モ文部省ノ方ニ企テ
ラレテ居ルト聞イテ居リマス、之ニ關聯シ
テ只今文部省ノ當局ノ方ガ居ラレナイカラ、
厚生省ノ方カラ然レバ御傳達願ヒマシテ、
此ノ師範教育改善ニ依ッテ小學校教員ノ健
康ヲ十分御考ヲ願ヒタイ、サウシテソレガ
小學校ノ兒童ニ及ス影響ニ付テ大ナル考慮
ヲ拂ハレタイト思ヒマス

○安井英二君 體力管理ノ範圍ノ擴張ト云
ヒマスコトハ大變結構ダト思ヒマスガ、此
ノ管理ノ内容ト云ヒマスガ、指導ト申シマス
カ、是ハ恐ラク保健所ヲ中心ニシテナサル御
考ダラウカト思ヒマスガ、先程中川委員ノ御
尋ニ對シテ人口局長カラノ御答ガアリ、保
健所ノ長ニ地方長官ノ職權ノ一部與ヘルヤ
ウニスル、是ハ十四條ノ改正ダラウト思ヒ
マスガ、其ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」トアリ
マスガ、大體ドウ云フヤウナ範圍ト申シマ
スカ、大體把テ返答デ宜シイノデスガ、ソ
レヲ一ツ承リタイト思ヒマス、ソレト是ハ
マア法制上ノ方面デアリマスガ、更ニ先程
モ少シ御話モ出タカト思ヒマスガ、體力
管理ノ方ニ實質ノ方面、検査ヲシテ舉句ニ
於テ之ヲドウ云フ風ニ指導ラシ、又ドウ云
フヤウナ手當ヲスルカト云フコトニ付テノ
豫算其ノ他ニ付テ、職權トカ法規ノ上デナ
クシテ、サウ云フ豫算其ノ他實質上ノコト
ニ付テドウ云フ計畫ヲ御持チニナッテ居ル
カ、ソレカラ尙此ノ體力検査ヲ致シマシタ
後、體力ノ管理ヲ實際ニヤッテ行クニモ、末

端ノ機關トシテドウ云フ點ニ重キヲ置イテ
ヤラウトシテ居ラレルカ、或ハ言ヒ換ヘマ
スレバ、私ナドハ此ノ國民健康保險ガ非常
ニ重要ナ地位ヲ持ッテ居ル、厚生省モソレヲ
御認メニナッテ今度ハ御改正ニナッテ、大變
結構ナコトデゴザイマスガ、此ノ體力ノ問
題ニ付キマシテ出來ルダケ國民健康保險ヲ
普及シ、又其ノ末端ノ組織ト結ビ付イテ國
民體力ノ管理ノ徹底ヲ期スルト云フコトハ
非常ニ重要デアリ、必要デアラウト思ヒマ
ス、サウ云フ點ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

○政府委員(中村敬之進君) 御答ヘ申上ゲ
マス、改正法ノ第十四條ノ二ニ關聯シテノ
御尋デゴザイマスガ、本條ニ於キマシテ地
方長官ノ職權ノ一部ヲ保健所ノ長ヲシテ行
ハシメ、而シテソレハ勅令ヲ以テ定メルト
云フコトニ相成ッテ居リマス、此ノ勅令ニ於
キマシテハ只今考ヘテ居リマス事項ト致シ
マシテハ、第一ニハ法律ノ第十一條ニ於キ
マシテ、地方長官ガ體力向上ニ關スル指示
ヲ本人ナリ或ハ保護者ニ與ヘルト云フコト
ニナッテ居リマス、實情ヲ申上ゲマス、
先ヅ市町村デ體力管理醫ガ身體検査ヲ行ヒ
マシテ其ノ結果、是ハ斯ウ云フヤウニシタ
ラ宜イダラウト云フヤウナ意見ヲ立デマシ
テ、ソレヲ書面ニ致シマシテ地方長官ノ手
許迄差出シマス、而シテ差出シタモノニ付
キマシテ、地方長官ガ必要ト認メタト云フ
時ニハ更ニ指示ヲ本人ニ向ッテ、或ハ保護者
ニ向ッテ發スルト云フヤウナ扱ニナッテ居リ
マスノデ、非常ナ時日ヲ要シマスシ、事務
上面倒デ實情ニ副ハナイ、又效果モ十分舉
ラナイト云フ憾ガアルノデアリマス、斯様
ナ際ニハ、幸ニシテ其ノ場所ニ保健所デモ

アリマスレバ、保健所ノ長ガ國民體力管理
醫カラ報告ヲ受ケマシテ、其ノ報告ヲ基ニ
シマシテ判斷ヲ致シテ本人ニ指示ヲ與ヘル、
斯ウ云フヤウナ扱ヲシタラ便宜デアラウ、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、
此ノコトハ第十二條ノ措置ニ付キマシテモ
同様デアリマシテ、十二條ハ即チ療養ニ關
スル處置ヲ地方長官ガ命ズルト云フコトニ
相成ッテ居ルノデアリマス、此ノ場合ニ於キ
マシテモ保健所ノ長ガ地方長官ノ行フベキ
處置命令ヲ自ラ行フ、斯ウ云フヤウニシタ
方ガ便宜デアリナイカ、只今考ヘテ居リマス
主タル事項ハ左様ナ事項デアリマス、次ニ
ハ此ノ體力管理ノ實質ノ方面ヲ明カニスル
爲ニ、之ニ要スル豫算ノ關係ヲ御尋ニナッ
タノデアリマスルガ、大體ヲ申上ゲマスル
ト體力法施行ニ要スル經費トシマシテハ、
地方廳費トモ合セマシテ、總額ガ約六百八
十萬圓ニナッテ居リマス、其ノ内譯ハ色々
リマスガ、主モノヲ申上ゲマス、第一
ガ十五歳以上二十五歳迄ノ男子ヲ被管理者
トシテ範圍モ擴張サレマスガ、更ニ工場等
ノ勞務者ニ付キマシテハ年二回ノ検査ヲ大
體行フコトニ致シテ居リマス、又「ツベル
クリン」ノ陽性者ニ對シマシテハ、「エックス」
線ノ間接撮影ヲモ行ッテ、検査ノ内容ヲ充
實シテ行ク、先程御指摘ニナリマシタ検査
ノ粗漏ト云フコトヲ極力防止スルト云フ考
ヘ方カラ、検査費ヲ増額シタノデアリマス
ガ、増額サレタ結果、検査費トシマシテハ
約四百十七萬圓ニ相成ルノデアリマス、次
ハ検査ノ結果ニ基イテ療養ノ指導ヲ行フノ
デアリマス、目下ノ所ハ結核ノ患者、花柳
病ノ患者ニ付テ指示ヲ行ヒマスガ、其ノ經
費ガ約四十七萬圓ニナッテ居リマス、ソレカ

ラ先程モチヨット申上ゲマシタガ、健康者ト
病者トノ中間ニアリマスル筋骨ノ薄弱ナ者
ニ對シマシテハ、是ハ體力ノ増強ノ爲ニ修鍊
ヲアルノデアリマスガ、其ノ經費ガ約六十
二萬圓ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカ
ラ此ノ管理ヲ行ヒマスニ付キマシテ必要ナ
ル機構ナリ其ノ他事務上ノ經費ガ色々要ル
ノデアリマスガ、其ノ中デ常設ノ管理醫ニ
對スル經費トシテ、是ハ大體手當ト旅費ノ
ヤウナモノデアリマスルガ、約六十六萬圓、
ソレカラ市町村等ニ於キマシテ管理ノ仕事
ヲスル上ニ於キマシテ、色々講習會ヲ致シ
タリ或ハ競技會其ノ他事務上ノ費用モ要ル
ノデアリマスルガ、是ガ約三十五萬圓、其
ノ他地方廳ハ配布スル金ガ五十四萬圓、大
體左様ナ内譯ニナッテ居ルノデアリマス

○政府委員(武井群嗣君) 只今仰セニナリ
マシタ最後ノ點ニ付テ御答ヘ致シマス、大
體先程モ申上ゲマシタヤウニ、國民體力法
ノ狙ッテ居リマスル所ハ、國民ヲ假ニ二ツニ
分ケルト致シマスレバ、一方ニ健全ナ者、
他方ニハ病氣ノ者ガアル譯デアリマス、而
シテ其ノ中間ニ弱者ガアル譯ダト思ヒマス、
國民體力法ト致シマシテハ第一ニハ健康ナ
者、ソレカラ續イテ弱者、虛弱ナ者ヲ目
當ニ致シテ居リマシテ、丈夫ナ者ニ付キマ
シテハ更ニ一層之ヲ強健ナラシメ、而シテ
之ニ次グ虛弱、病弱者ニ付キマシテハ修鍊
會、療養ノ指示、指導等ニ依リマシテ、之
ヲ健康體ナラシメヨウト云フ譯デアリマス
ガ、ソレニ付キマシテ先程申上ゲマシタヤ
ウニ、各種ノ費用等ヲ計上致シマシテ遺漏
ナキヲ期シテ居ル譯デアリマシテ、明年度
ニ於キマシテハ特ニ間接撮影等ニ力ヲ入レ
テ精密ナル検査ヲ致シ、又一面其ノ狀態ニ

依リマシテハ體力検査ヲスル機會ノ回數ヲ二回ニ増サウト云フヤウナコトデゴザイマス、ソレデ先程仰セニナリマシタヤウニ、斯様ナ計畫ヲ致シマシテモ、最後ノ末端ニ於テ是ガ本當ニ實現サレナケレバ、折角ノ計畫モ實效ヲ收メ難イコトデゴザイマスノデ、是ガ末端迄徹底シテ國民ニ其ノ效果ノ舉リマスルコトヲ念願トシテ居ル譯デゴザイマス、體力法ノ規定ノ上ニ於キマシテハ之ニ當リマスモノハ、未成年者ノ被管理者ニ付キマシテハ其ノ保護者ト云フコトニナッテ居リマス、而シテ法制上ノ擔當責任者ト致シマシテハ、市町村長ガ之ニ當ルコトニナッテ居リマス、今回ノ改正ニ依リマシテ保健所ノ長ガソレニ關與スルコトニナッテ居ル譯デゴザイマスガ、是ハ法制上ノ點デゴザイマス、實際問題ト致シマシテ本當ニ體力検査ノ、體力管理ノ效果ヲ舉ゲル上ニ於キマシテハ、先程仰セニナリマシタヤウナ國民健康保險組織ヲ擴充致シマシテ、サウシテ一人々々ニ此ノ目的トスル所ガ現レマスルヤウニ致スコトガ最モ大切ナコトデアルト思ヒマス、明年度ノ豫算ニ於キマシテ國民健康保險ノ對象トナルベキモノヲ、千三百七十萬程ヲ殖ヤサウト致シテ居リマスルノモス様ナ目的ヲ兼ネテノコトデゴザイマスノデ、御趣旨ニ於キマシテハ私共全然同じ考ヲ持ッテ居ルノデゴザイマシテ、其ノヤウナ御趣旨ニ從ヒマシテ此ノ實效ヲ舉ゲルコトニ努メテ居ル次第デゴザイマス

○中川望君 大臣閣下ガ御見エニナリマシタカラチヨット御願ヒ致シタイト思フノデゴザイマスガ、ソレハ只今直グト云フ譯デモゴザイマセス、適當ナル機會ニ御願ヒ致シタイト思ヒマスガ、此ノ國民體力法ニ

次ノ國民醫療法等ニ付キマシテモ、國民ノ體力向上、醫療ノ適正普及ト云フコトニ付テ、專ラ其ノ點カラ御改正ニナッテ居ルヤウデアリマス、就キマシテハ先刻來モ段々御質問又御答辯モアッタノデゴザイマスルガ、此ノ國民ノ體力向上、醫療ノ普及ト云フコトニ付テ、厚生省トシテノ詰リ國策ヲ大體ニ於テ御示ヲ願フ體置キマスレバ、其ノ國策ニ副ウテ體力管理ナリ、或ハ醫療法ノ規定、醫師並ニ醫療關係者ノ責務、總テノコトガ明瞭ニ相成ルカト存ジマスルノデ、此ノ法律ト直接ノ關係デハゴザイマセスケレドモ乳幼児、妊産婦等ニ關スルコト等迄モ全體ニ互ッテ一應ノ御説明ヲ願フ體置キマシタラバ大イニ參考ニナラウカト存ジマス、適當ナ機會ニ大臣ニ親シク御願ヒシタイト存ジマス

○國務大臣(小泉親彦君) 只今中川委員カラ御尋ガゴザイマシタ國民體力向上、又醫療ノ普及ト云フコトニ關聯致シマシテ、ドウ云フ風ニ持ッテ行ク積リデアルカト云フ御尋デゴザイマシタ、既ニ今朝來政府委員ニ於テ此ノ點ニ付テ御説明申上ゲタコトト存ジテ居リマスルシ、又私今日豫算委員會ノ方ニ出テ居リマシテ、今參リマシテ遅レタ次第誠ニ恐縮デゴザイマスガ、參リマシタ其ノ瞬間ニ次官カラ申述ベテ居リマシタヤウナ點ガ狙ヒ所デゴザイマスガ、重複致スト存ジマスルガ、御尋デゴザイマスルカラ總括的ニ私共ノ考ヘテ居リマスル所ヲ此ノ機會ニ御説明申上ゲタイト存ジマス、申上ゲル迄モナク此ノ大東亞戰爭ニ勝チ抜ク、而シテ大東亞共榮圈ヲ確立スルト云フ、此ノ爲ニハ國內ニアリマス豫備兵力、人の戰力ト云フモノヲ十分ニ充備致スト云フ

コトト、是ト同時ニ生産力擴充ト云フ重要事務ニ對シマシテノ勞務ヲ確保スルト云フ、此ノ二ツガ喫緊ノ要務ダト存ジテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ二ツノ目的ヲ完遂シマスル爲ニ、只今御尋ノヤウナ問題ニ關聯シテ研究ヲ致シタ次第デアリマシテ、申上ゲル迄モナク國民ノ體力、是ハ體力良クスル、病氣ノナイヤウニスルト云フ方面ノ外ニ、働キ甲斐ノアル、又能率のナ機能ヲ持タセル、サウシテ精神方面ニ於テモ立派ナ者、即チ此ノ三ツノ能力ヲ綜合シタ綜合能力、之ヲ國民體力、斯ウ申シマシテ、之ヲ向上スルト云フコトガ、取敢ズ此ノ大目的完遂ノ爲ニハ必要デアル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソコデ體力向上ノ爲ノ國民體力法ト云フモノガ過去二年間實施サレテ參リマシタガ、只今ノヤウナ觀點カラ致シマスレバ、之ヲ更ニ徹底シ、尙效果的ニシテ、サウシテ所期ノ目的ヲ達成シナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘル次第デゴザイマス、從來ノ検査ハ一年一回所謂體力検査ト云フモノヲ實施致シマシテ、其ノ成績ヲ體力手帳ニ記録シテ參ッテ來タノデゴザイマスガ、只今中川委員ヨリ御指摘ガゴザイマシタガ、今回私共ハ、之ヲモウ生レル前カラ一ツツノ體力検査、體力管理ノ手ヲ伸バシタイト云フ考ナンデゴザイマス、即チ生レル前ノ胎兒ノコトハ後ニ申上ゲマスルガ、生レルト當時ニ其ノ出生當時ノ身體ノ之ヲ助産婦ガ體重デゴザイマス、トカ、健否等、或ハ身體ノ色ナコトヲ必ズ調ベルコトニナッテ居リマスガ、其ノ成績ヲ體力手帳ノ第一頁ニ先ツ書キ込シマフ、サウシテ爾後ハ從來行ハレマシタヤウナ體力検査ノミニ限定シマセヌデ、廣ク學校ニ於キマシテモ、工場ニ於キ

マシテモ、或ハ其ノ他ニ於キマシテ、又特殊ノ疾病ニ罹リマシテ、是ハ國民體力向上上特殊ニ必要デアルト云フ其ノ疾病ニ罹リマシテ醫者ノ診斷ヲ請ヒマシタ場合、或ハ又サウ云フ疾病デゴザイマセヌデモ一定期間以上病氣ニ罹リマシテ、醫師ニ治療ヲ請ウタト云フヤウナ場合ニハ、之ヲ悉ク體力手帳ニ記録セシムル、斯ウ云フヤウニ致シマシテ、此ノ體力手帳ヲ當人ノ健康履歷書ト云フヤウナモノニシテシマヒタイ、サウシテ此ノ健康履歷書ガ學校ニ入リマス時、或ハ卒業ヲ致シマシテ就職スル場合、更ニ徵兵検査ト云フヤウナ場合等ニ此ノ提示ヲ必要トスルト云フコトニ致シマシテ、之ニ依リマシテ一ハ以テ其ノ管理ヲ受ケマシタル國民ヲシテ健康ト云フコトガ國家ノ第一義的要請ダ、而モ此ノ時局ニ於テハ非常ナル強キ要請デアルト云フコトヲ能ク感銘セシメマシテ、自己ノ健康ヲ守リ、更ニ御役ニ立ツヤウニ身體ヲ鍊ッテ行クト云フコトガ國ニ盡ス所以ダト云フコトヲ其ノ當人自ラニ能ク自覺セシムル、ト同時ニ、政府ト致シマシテハ國民體力ノ此ノ検査ニ依リマシテ全貌ヲ把握致シマシテ、サウシテ體力管理ノ完璧ヲ期シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ來タノデゴザイマス、從來トモ検査ノ結果ニ基キマシテソレノ措置ヲ致シテ居ッタノデゴザイマスガ、是亦今日ノ時局ノ要請ニ鑑ミマスレバ誠ニ不徹底デゴザイマシテ、且具體的デナイ憾ガ多分ニ存在致シテ居リマシテ、其ノ措置甚ダ抽象的又總括的ナ總論的ナモノガ多カッタノデゴザイマシテ、此ノ點ヲ改善致シマシテ、検査ノ結果ニ基ク衣食住ハ固ヨリ、勤勞ノコトデモ運動ノコトデモ、學業ノコトデモ、其ノ他生活環境

全般ニ對シマシテ具體的ノ指導、具體的ノ命令ヲ具體的ニ措置スルト云フ風ニ改正シタイト云フノガ、今回國民體力法中ノ改正法律案トシテ提出致シヤウナ次第デゴザイマス、サウシテソレガ唯管理ヲ受ケマスル者、個人的ノ關係ノコトハ勿論デアリマスルガ、其ノ保護者或ハ雇傭主、或ハ其ノ被管理者ノ居住致シテ居リマスル團體ト云フモノニ對シマシテ、體力向上ニ關シマシテ檢査成績ニ基キマシテ必要ガアル場合ニ於キマシテハ、所要ノ措置ヲ致シ得ルト云フヤウニ致シタ次第デゴザイマス、斯クノ如ク致シマシテ普通ノ健康者ニ對シマシテハ、只今次官カラ申上ゲマシタヤウニ、更ニ剛健ナル精神ト靱強ナル肉體トヲ修練サセル、極ク簡單ニ私共ハ其ノ修練シタ結果ヲ耐兵役者トスル、兵役ニ耐ヘ得ル體ノ持主ニサセル、サウシテ此ノ耐兵役者ノ體ニナツタ者ヲ更ニ之ヲ心身ヲ鍛鍊致シマシテ耐戰闘者タラシメル、或ハ對時局適任者タラシメル、生産擴充ノ方面ニ參リマシテモ第一線ノ戰士トシテ立派ニ働ケルヤウナ體ニシテ行キタイ、是ガ爲ニハ今回結成サレムト致シテ居リマスル綜合體育ノ團體、或ハ綜合武道團體ト云フヤウナ團體ト協力致シマシテ、或ハ又各種ノ修練會其ノ他類似ノ施設ヲ十分ニ利用シテ行キタイト考ヘテ居ル次第ナドゴザイマス、先程チヨット一言最初ニ申上ゲマシタ出生ト同時ニ體力手帳ノ第一頁ニ記錄スルト申上ゲマシタガ、其ノコトハ以前ニ胎兒ノ時カラ、否其ノ子供ヲ預ル母ノ體カラ強健ニシタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマシテ、先程中川委員ノ御言葉ニゴザイマシタ妊産婦ノ問題、妊婦ノ問題ト云フヤウナモノニ取上ゲテ

居ル次第デゴザイマス、今回私共ト致シマシテハ妊娠ヲ致シマシタナラバ、一定期間ノ後ニ其ノ妊娠ノ確實ナコトヲ認メラル、時期カラハ必ズ之ヲ届出ヲ致シマシテ、届出ヲ致シマシタナラバ其ノ届出ニ依リマシテ胎兒ヲ保護スル、立派ナ子供トシテ生レルヤウニ胎兒ヲ育てル、今日此ノ胎兒ヲ育てル、母ヲ健康ニスル、安産ヲ確實ニスル、確保スルト云フコトノ爲ニ十分ノ力ガ及ンデ居リマセス、其ノ結果專門家ノ意見ヲ聞キマスルト、其ノ結果三十數萬ノ年々ノ胎兒損失ガアル、斯フ云フコトデゴザイマス、其ノ手ニ及ンデ居リマセス所ヲ今回手ヲ伸バシマシテ、只今ノヤウニ届出デマスルト、爾後必ズ之ニ對シマシテ體ヲ診斷ヲ致シマシテ、サウシテ胎兒損失ヲ起ス重大ナ原因ガ其ノ方面ノ專門家ノ意見ニ依リマシテ略々重點ガ定テ居リマス、其ノ重點ニ對シテ十分ニ檢査ヲ施行致シマシテ、サウシテ其ノ缺陷ノ爲ニ胎兒損失ガ起ルト云フコトヲ防止シテ行ク、又安産ヲ保證致シマスル爲ニ適當ナル保護ヲ加ヘテ行キタイ、斯フ云フヤウニ考ヘテ居リマス、即チ之ニ依リマシテ胎兒ガ生レマスル前ニ同ジ體力手帳デハゴザイマセヌガ、是ト關聯致シマシテ胎兒ノマダ胎内ニ居リマスル間カラノ健康履歴ヲ、斯クノ如クニ致シマシテ今回ノ改正中ニアリマスル男子デアリマスレバ、二十五歳迄ノ間ニ於テ健康履歴ヲ完成致シタイ、斯フ云フ風ナ考ヘ方ヲシテ居ル次第デゴザイマス、併シナガラ全部ガ健全ナ者デゴザイマセヌ、病人デハナイ、併シ先程申上ゲマシタヤウナ修練或ハ鍛鍊ト云フコトニハ耐ヘラレナイト云フ體ノ人モアルノデゴザイマスカラ、是等ノ人々ニ對シマシテハ先程申上ゲマシ

タ衣食住、業、其ノ他ノ政善指導措置ニ依リマシテ、速カニソレ等ノ人々ヲ修練ヲ受クルコトガ可能デアルト云フ體力迄ニ之ヲ引上ゲテ行クサウシテ其ノ指導ナリ措置ノ方針、又狙ヒ所ハ體力手帳ニ依リマシテ之ヲ判定ヲシテ、サウシテ健康ナラシメルト云フ風ニ致ス、其ノ役割ヲ是非保健所ニ擔當セシメタイト、斯ウ考ヘテ居リマス、從ヒマシテ保健所網ノ擴充強化ト云フコトヲ努メタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、併シ更ニ國民ノ中ニハ本當ノ病人モ居リマスルシ、又當人ハ病者デナイト自覺致シタ者デモ、早期ニ之ヲ處理治療致シマスレバ健康トナリ得ルト云フ觀點カラシテ、速カニ保健所ノ處置ヲ受クル人トナラシメル、少クトモ保健所ノ世話ヲ受ケテ行クダケノ體ニナラシメル、換言致シマスレバ治療ヲ即効的ニ期待スル、其ノ爲ニハドウシテモ今日ノ現状以上ノ醫療ノ内容ヲ、治療ノ内容ヲ向上致シマシテ、從來ノ如ク唯病床ニ寝カセテ藥ヲ盛り、サウシテ其ノ治療ヲ待ツト云フヤウナ治療法、治療方法デナクテ、其ノ病症々々、其ノ時機刻々ノ病狀、及ビ其ノ周圍ノ環境ニ適應スル治療ヲ、ドシク積極的ニ加ヘテ行キマシテ、出來ルダケ速カニ働ケル人ト爲スト云フ合理的ナ、換言致シマスレバ、日進醫學ヲ其ノ儘活用シタ、良イ治療ガ全國ニ普及シアルト云フコトガ前提的ノ要件トナツテ參リマスノデ、此ノ要請ヨリ生レ出マシタモノガ日本醫療團デアリマシテ、又國民醫療法案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、デ此ノ際チヨット長クナルノデアリマスガ、醫療團ニ付キマシテ、只今日日本醫療團ト云フモノヲ考ヘテ、國民醫療法ノ中ニ、日本醫療團ト云フモノ

ヲ考ヘタコトヲ申上ゲマシタノデ、後ノ御參考ニ一言日本醫療團ニ付キマシテ申上ゲタイト存ジマス、此ノ日本醫療團ハ、目的ト致シマスコトハ、結核ノ撲滅ト、無醫地域ノ解消トヲ目標ト致シテ居リマシテ、併セテ只今申上ゲマシタ醫療内容ノ向上ヲ圖リタイト云フノガ其ノ目的デゴザイマス、業務ハ此ノ目的ヲ達成致シマスル爲ニ、先ヅ結核療養所十萬床ヲ目標ト致シマシテ、茲ニ新タニ八萬床ヲ全國必要ナル土地ニ急速ニ新設致シマシテ、之ガ經營ニ當リマスルト共ニ、無醫地域ニ對シマシテハ其ノ急速ナル解消ヲ目指シマシテ必要ナル診療所及ビ地方綜合病院ヲ新設致シマシテ、之ヲ經營シタイ、斯ウ考ヘテ居ルデアリマスルガ、單ニ是等ノ新設病院、診療所ヲ經營スルト云フバカリデナクテ、既存ノ醫療機關ヲモ或程度本團ノ經營ニ移シマシテ、中央地方ヲ通ジタル最小限度ノ醫療組織體系ヲ整備シテ、之ニ依ッテ醫療内容ヲ向上致シタイト、斯ウ考ヘルデアリマス、最小限度ノ醫療體系ヲ整備スルト申上ゲマシタガ、ソレハ大體東京、大阪ニ專門的ナ綜合病院ヲ一箇所ツツ、道府縣廳所在地ニ道府縣綜合病院ヲ一箇所ツツ、道府縣内ノ樞要ナ地域ニ地方綜合病院ヲ、更ニ其ノ下部系統ト致シマシテ無醫村ニ地方診療所又ハ其ノ出張診療所ヲ必要ナル限度ニ於テ經營致サウ、斯ウ云フ考ナノデアリマス、從ヒマシテ既存ノ醫療機關ヲ統合致シマスル場合ニハ、豫メ其ノ範圍、種類等ヲ限定致シマシテ、之ニ該當スルモノハ本團ノ經營ニ移管セシムルモノダト云フヤウナ考ハ毛頭持ッテ居ラナイノデゴザイマス、只今申上ゲマシタ此ノ組織整備上必要ト認メラル、モ

ノダテヲ統合スル方針デゴザイマス、從ヒマシテ尙醫療社會事業施設、例ヘバ公益法人或ハ慈善病院トカ云フヤウナ特殊性ノアル醫療機關ト云フモノヲ、之ヲ日本醫療團ニ統合スルト云フ考ハ持ツテ居ラナイノデゴザイマス、然ラバ如何ナル方法ヲ以テ統合スルヤト申上ゲマスルト、買収、借受、現物出資等ノ途ヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、勿論統合ニ付キマシテハ當事者間ノ協議ニ依ツテ方法、條件等ヲ決定スルト云フ考デゴザイマス、併シ體系整備ノ爲ニドウシテモ統合ガ必要ダト云フモノデアリマシテ、而モ當事者間ノ協議ガ整ハナイト云フヤウナ場合ガゴザイマスレバ、ソレハ主務大臣ニ於キマシテ官民合同ノ審査機關ノ審議ヲ經テ、必要ナル決定ヲナスコトガ出來ル途ヲ開イテ居ルノデゴザイマス、勿論統合ハ何處迄モ當事者間ノ協議ニ依ツテ圓滿ニ行フト云フノガ根本ノ方針デゴザイマス、經營ノ方針ト致シマシテハ、一般醫療ノ部門ト結構ノ部門トヲ二ツニ分チマシテ、之ヲ經營スル考デアリマシテ、一般醫療部門ニ付キマシテハ大體收支ハ償フト云フ方針デゴザイマスルガ、結構ノ部門ニ付キマシテハ、其ノ性質カラ考ヘマシテ、當然收支相償フト云フコトヲ期待スルト云フコトガ困難デアリマスルノデ、是ハ相當ノ赤字ノ出來ルコトモ豫想セザルヲ得ナイヤウナ次第デアリマスルノデ、之ニ對シマシテハ政府ニ於キマシテ毎年度必要ナル補助ヲ爲スト云フコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ姿ノ日本醫療團ガ、開業醫トハ然ラバドウ云フ關係ニナルデアラウカト云フ問題ヲ一言申上ゲマスルガ、日本醫療團ト開業醫トノ關係ニ付キマシテハ、現在ニ於キマシテモ

開業醫ノ外ニ各種ノ體系ニ依リ醫療機關ガ錯綜シテ存在致シテ居リマシテ、而モ兩者ノ關係必ズシモ圓滑ニハ參ツテ居ラナイノデアリマスルカラ、醫療團ハ是等ノモノヲ或程度變メテ經營スルコトト致シマスルカラ、開業醫トノ關係ハ少クトモ從來ヨリ圓滑ニ運行出來ルヤウニナルト考ヘテ居リマスルノミナラズ、將來醫療團ハ開業醫ニハ協力シ、又必要ニ應ジマシテハ其ノ要求ニ基ク指導ノ任ニモ十分當ルト云フヤウナ考デ居リマス、又醫療團所屬ノ醫師ハ開業醫ト同一ナ立場ニ於キマシテ醫師會ノ會員トナルノデアリマス、日本醫療團ハ出來ル限リ開業醫並ニ醫師會ト協調セシメテ行ク考ナノデゴザイマス、從ヒマシテ總裁以下役員ノ選任ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、今日具體的ニ考慮ハ致シテ居リマセヌガ、其ノ選任ヲスル方針ト致シマシテハ醫界ノ全體ニ信望アリ、且本團ノ事業ノ經營ノ精神カラ見マシテモ最適任者ト云フモノヲ廣イ視野カラ簡拔致シタイ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、只今申上ゲマシタヤウナ此ノ日本醫療團ト云フモノガ生レマシテ、先程申シマシタヤウナ時局ニ即應スル、而モ合理的ナ醫療ヲ全國ニ普及スルト云フ必要カラシテ斯ウ云フ考ヘ方ニ及シダ次第デゴザイマス、併シ體力手帳ガ先程申上ゲマシタヤウニ整備致シマシテ、又保健所網ノ活動ガ敏活トナリ、又只今申上ゲマシタ適正ナル醫療ノ普及ト云フコトガ出來マス、之ニハドウシテモ根本ガ醫師ノ活動ト云フコトガ根本トナリマス、又先程カラ申上ゲマシタガ、國家目的ヘノ醫師ノ協力ト云フコトガ可能ナルガ如キ醫界體制ヲ必要トスルノデゴザイマシテ、國民醫療法

中ニ醫療ノ監督指導、或ハ醫術ノ修習、練成トカ、或ハ醫師ノ本分トカ、或ハ醫師會ト云フヤウナモノニサウ云フ意味カラ規定ヲ加ヘタ次第デゴザイマス、即チ國民體力ヲ大東亞共榮圈確保ノ、此ノ要諦ニ即應スルダケノモノト爲スト云フ大目標ニ向ヒマシテ現行ノ國民體力法ヲ改正スル、之ヲ國民體力ノ向上ノ根本法ト致ス、併シ國民ノ中ニハ病弱者ガ居ルノデゴザイマスカラ、之ヲ速カニ健康體ト致シテ國家有用ノ材ヲシムルト云フ上カラシテ、國民醫療法案ヲ提出致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、今回豫算面ニ計上致シテ居リマスルモノハ、此ノ二ツノ大キナ線ニ沿ヒマシテ、先程カラ申上ゲマスルヤウナ體力検査、或ハ檢診、或ハ其ノ療養ニ對シマスル指導デゴザイマス、或ハ其ノ他特殊ノ結核豫防、花柳病豫防、或ハ其ノ他特殊ノ病氣ニ對シマスル豫防デゴザイマス、或ハ社會保險擴充ニ依リマシテ醫療ノ適正ナル普及等ヲ各方面ニ普及スルト云フヤウナコトヲ考ヘ、國民健康保險法ノ如キモ全農村ノ者ヲ悉クヲ強制加入トシマスル迄ニハ色々マダ準備ヲ要シマスルヤウナ譯デゴザイマス、今回法律改正案ニ出シマシタ程度ニ止メマシテ、併シ出來ルダケ廣ク國民ニ此ノ恩典ニ均霑セシムルト云フ風ニ考ヘテ參リマシタヤウナ次第デゴザイマス、只今御尋ニ關聯致シマシテ綜合的ニ御答ヘ申上ゲマシタ

午後一時三十九分開會
○委員長(公爵島津忠承君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス
○河原田稼吉君 ソレデハ私ハ日本醫療團ノコトニ關シテ少シ御尋ラシテ見タイと思ヒマス
○委員長(公爵島津忠承君) 河原田委員ニ申上ゲマスガ、此ノ場合國民體力法案ニ付テ御尋ヲ願ヒタイと思ヒマス
○河原田稼吉君 ア、サウデスカ、失禮致シマシタ、國民體力法案ガ今議題ニナツテ居ル譯デゴザイマス、マダソコニ入リマセヌノデスカ
○委員長(公爵島津忠承君) マダ國民體力法デス
○河原田稼吉君 ソレデハドウゾ取消シテ戴キマス
○松井茂君 先刻厚生大臣カラ國民體力法ノ根本的趣旨ヲ縷、御説明ヲ得マシテ、能ク分リマシタガ、結局大東亞ノ新秩序ノ建設ノ時局ニ順應シテ大イニ進ムト云フ御趣旨ノヤウデアリマスガ、ソレニ付テ承ッテ見タイノハ、衆議院ノ豫算會デモ説ガ出タヤウデアリマスルガ、日本人ノ血ヲ長ク保持スルコトガ最モ急務デアルト存ジマス、南洋ノ方面ノ氣候、風土、歴史ハ大イニ違ッテモ居リマス、萬ガ一ニモ是ト混線スルコトニ相成リマスルト、國家百年ノ大計上容易ナラスコトト存ズルノデアリマス、日本ノ純潔ナル血ヲ永遠ニ維持シ、是ト同時ニ是カラ向ヘ參リマスル所ノ日本人、勿論是等ニ對シテハ十分ノ國策上カラ方針ガ定マツテ居ルコトト存ジマス、又南洋人等ニ對スル所ノ方針、斯ウ云フヤウナコトハ今カラ餘程大切ナル重大問題ト存ジマスルガ、

午後零時九分休憩

サウ云フ方面ニ對スル所ノ御考ヲ承レレバ
幸ダト存ジマス

○國務大臣(小泉親彦君) 只今大東亞共榮
國ニ國民ノ進出ニ伴フ血ノ純潔ヲ保ツコト
ニ付テ必要ナルコトヲ御述ニナリマシタ、
全然御同感デゴザイマス、政府ト致シマシ
テモ此ノ點ハ夙ニ取上ゲマシテ、色々今日
ヤッテ居リマスル作戰ノ現狀、又將來ヲ見透
シマシテ國民ノ南洋ニ於ケル生活ノ上カラ
考ヘマシテモ、是非非常ニ大キナ問題デゴ
ザイマスルノデ、人口政策上カラ之ヲ取上
ゲマシテ、何處迄モ只今ノ御説ニアリマシ
タヤウナ純潔ヲ保ツテ行ク、而シテ我が國民
ハ其ノ指導的、中核的存在トシテ大東亞ノ
共榮ヲ確保シテ行クト云フ積リデ研究ヲ進
メテ居リ、又ソレガ爲ノ適當ナル措置モ作
戰軍ニ、今日直グ必要ナモノハ取上ゲテ指
示致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○松井茂君 尙重ネテ承ツテ置キマスガ、
此ノ南洋ノ土民ナンゾニ對シテ、其ノ土地
ノ慣習ヲ能ク參考ニ致シマシテ、サウシテ
善處セネバナラスノハ是ハ言フ迄モナイノ
デアリマスルガ、斯ウ云フ場合ニ於テ此ノ
治療ノ問題ノ如キハ、最モ率先シテヤルベ
キモノデハアルマイカ、從ツテ只今ハ軍ガ直
接サウ云フコトハオヤリニナッテ居ルノデ
アリマセウガ、或ハ同仁會或ハ赤十字ト云ッ
タヤウナモノガ、軍ノ方ノ事ニ對シテハ無
論デアリマスガ、其ノ餘力ヲ以テサウ云フ
治療問題ナンゾニ對シテ手ヲ擴ゲルト云フ
ヤウナコトモ、餘程時宜ニ適シタリ方デ
ハナイカト思フノデアリマス、是ハ法案ニ
直接關係ノアル問題デハナイノデアリマス
ルガ、序ニ此ノ問題ニ對スル御意見ヲ承ツテ
置キタイト思ヒマス

○國務大臣(小泉親彦君) 只今ノ御説御尤
モデゴザイマス、今日ハ何ト申シマシテモ
作戰中デゴザイマス、併シ作戰中デアルカ
ラ其ノ儘ニシテ置ケバ宜イト云フ積リハ全
然ゴザイマセヌ、既ニ厚生省ト致シマシテ
モ軍ト一體トナリマシテ、今御示シノヤウ
ナ點ニ付キマシテハ、既ニ作戰軍内ニ於テ
一體トナッテ出來上リマシタ只今申シタヤ
ウナ方針ニ付テ民情ト申シマスガ、彼等ノ
風俗慣習、又ソレニ對シテノミナラズ有ラ
ユル方面カラ多角的ニ觀察シマシタ生活各
場面ヲ綜合的ニ見マシテ、之ニ對シテ醫療
ト云フヤウナ問題ニ對シマシテモ善處スル
ヤウニ特別ノ手配モ致シテアルヤウナ次第
デゴザイマシテ、今後軍政ノ次ニ來ルベキ
モノニ對スル有力ナル資料、又ソレノ基礎
トナラシムルト云フ氣持デ只今進ンデ居リ
マス、又同仁會、赤十字社等ノ進出、是ハ當
然考ヘラレル問題デゴザイマスガ、今日ノ
所ハ同仁會ハ南支迄ト云フコトデ措置サレ
テ居リマス、即チ海南島迄デゴザイマス、
併シ今回ノ作戰地域等ノ既往ニ於ケル色々
ノ成立チ等ヲ考ヘマスルト、南方ニ於ケルマシ
テハ既設ノ色々ノ施設ノ性狀、又國際的ノ
關係等モ睨ミ合シテ、日本赤十字社ト云フ
モノノ活動ガ非常ニ期待セラレルモノデゴ
ザイマシテ、此ノ點ハ今日既ニ軍、外務等
ト密接ナ諒解ノ下ニ適時適當ナル措置ヲ講
ズベク準備ヲ致シテ居リマス、左様御承知
願ヒマス

○委員長(公爵島津忠承君) 外ニ御質問ハ
ゴザイマセヌカ
○子爵高木正得君 私ハ大臣ニ御質問スル
ノハ少シ恐縮ニ存ジマスノデ、政府委員ノ
方デモ宜シウゴザイマス、其ノ第一點ハ先
程私ガ伺ヒマシタ所ニ依ルト、今回ノ改正
ニ依リマシタ女子モ二十歳迄ト云フ御話
デ、現在ハ男子バカリニ限ルト云フ御話デ
ゴザイマシタガ、將來女子ニ及ス場合ニ、
何時頃カラ女子ニ迄行フヤウニナルカラ伺
ヒタイト存ジマス、ソレニ付テ男子ハ先程
大臣ノ仰セラレ、所デハ、國策ニ副シ頑健
ナ丈夫ナ者、何時デモ戰爭ニ出ラレルシ、
又銃後ノ生産方面ニ大イニ活躍出來ルヤウ
ナ體質ヲ備ヘルヤウニシテ行キタイ、ト云
フヤウナ御話デゴザイマスガ、又女子ニ付
キマシテハ私ノ察スル所ニ依ルト、是ハ勞
務モ必要カモ存ジマセヌガ、更ニ將來ノ子
孫ヲ繁榮サセル上ニ於テ、大イニ産メヨ殖
ヤセヨト云フ標語ノアル如ク進マネバナラ
ヌト思ヒマス、從テ男子ト女子ノ間ニ於ケ
ル體格検査、又體位向上ノ上ニ於テモ自ラ
差ガアルヤウニ存ジマスガ、其ノ邊若シ御
示ガ出來マスレバ伺ヒタイト思ヒマス、ソ
レカラ第二點ハ、此ノ昭和十五年度體力檢
査成績概要ノ中ニ記載シテゴザイマス病氣
ノ中ヲ見マスルト、齲齒ガ非常ナ率デ出
テ居ルヤウニ見エマス、私モ少シ齒ノ惡イ方
デゴザイマスガ、齲齒ハ健康ニ大シテ影響
ハナイト思ヒマスガ、矢張り消化器官ノ障
害トカ、サウ云フコトガ延イテ起ル關係上
餘リ忽セニハ出來ナイト存ジマス、是ハ日
本人ガ元來齒ガ惡イノデゴザイマセウカ、
又手當ガ惡イ爲ニ斯ウ云フ風ニナッデ居ル
ノデゴザイマセウカ、例ヘバ昔ハ齲齒ナン
ト云フモノハナカッタノガ、現在ニ於テハ色
色ナ種類ノ齲齒ガゴザイマス、昔ハ鹽位デ
ザットヤッテ置イタノガ、現在デハ固イ毛ノ
「ブラッシュ」ヲ使フトカ、軟イ「ブラッシュ」ヲ
使フトカ、ドッチガ宜イカ分リマセヌガ、サウ

云フ風ニシタ結果、或ハ齲齒ガ殖エテ來タ
ト云フヤウナ説ヲ爲ス者モアリマスガ、此
ノ邊伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(小泉親彦君) 只今御尋デゴザ
イマシタ女子ノ問題ニ付キマシテハ、全般
的ノコトニ關係致シマスルノデ、私カラ一
應御答ヘ申上ゲテ、細カイコトハ政府委員
カラ又補足スルコトニ致シマス、人口問題
處理ノ上ノミナラズ、國トシテ女子ノ責務
ノ愈々重キコトヲ考ヘマシテ、其ノ根本ハ立
派ナ婦徳ノ現レタ、立派ナ體ノ女子ヲ多數
求メタイト云フ觀點カラ致シマシテ、實ハ
女子、而モ日本ノ風俗慣習等モ能ク考ヘマ
シテ、根本ニ廣イ意味ノ女子教化ト云フコ
トト睨ミ合セマシテ、今日目的ト致シマス
體力向上ノ目的ヲ完成シテ行キタイ、斯
ウ云フヤウナ考ヘ方ヲ致シテ居リマシテ、
今此ノ女子教化ノ問題、又學校教育ノ問題
等モ逐次見直シテ行カネバナラナイト、今
日文部當局トモ協議ヲ進メテ居ルヤウナ次
第デアリマス、之ノ成案ヲ得ルニ伴ヒマシ
テ、只今ノ女子ヲ對象トスル體力法ノ執行
範圍、管理ノ範圍等モ或ハ考慮スル場合ガ
生ズルカモ知レナイト存ジテ居リマス、或
ハ又其ノ内容ニ於ケルマシテモ考慮致サナケ
レバナラナイ場面ガアルノデハナイカト考
ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、併シ今回ノ
改正案ニ男子ノミ二十五歳迄ニ範圍ヲ擴張
致シテ居リマスノハ、既ニ御説明申上ゲマ
シタヤウナ理由デゴザイマス、ソレカラ第
二ノ齲齒ノ問題等ニ付キマシテハ、是ハ色
色ノ原因ガアルヤウニ専門家が述ベテ居ル
ノデゴザイマスルガ、厚生當局トシマシテ
ハ、就中重大ナ關心ヲ持ッテ居リマスノハ、
非常ニ言葉ハ卑近過ギルノデアリマスガ、

蠻人ハ齧齒ガナクテ、文化ノ進ムニ從テ齧齒ガアルノダ、齒ヲ見レバ文化ノ程度ガ分ルノダト云フヤウナコトガ言ハレタヤウナ反面ノ事情等ヲ考慮シマシテ、我ガ國民ノ體力ヲ向上スルト云フ上ニ其ノ點ヲ能ク考ヘテ、齧齒問題ヲ處理シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、其ノ他ノ問題ハ割合ニ小サナ齧齒對策デアルト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(公爵島津忠承君) 他ニ御質問ゴザイマセヌカ、御質問ガナイヤウデアリマスカラ、國民體力法中改正法律案ニ關スル御質疑ハ此ノ程度デ打切りマシテ、次ニ移リタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイト認メマス、ソレデハ國民醫療法案ニ付キマシテ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、先ヅ初メニ總括的ナ御質疑ヲ願ヒマシテ、ソレガ終リマシテカラ逐條審議ニ入りタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイト認メマス

○小坂梅吉君 茲ニ上程サレマシタ國民醫療法案ニ關シマシテハ、國民ノ體位向上、保健ノ萬全ヲ期スルノデアリマスカラ、本法案ノ趣旨ニ對シテハ滿腔ノ敬意ヲ贅意ヲ表スルノデアリマス、併シナガラ其ノ法案中ニ規定サル、所ノ日本醫療團ノ性格ニ付テハ、一伺ッテ見タイト思フノデアリマス、其ノ前提ト致シマシテ私ハ、政府ノ方針ガ從來自治體ノ厚生事業、永年自治體ガ辛勞ノ結果完成シツ、アル所ノ厚生事業ニ付テ、政府ノ將來ノ方針如何ト云フコトヲ伺ッテ

見タイト思フノデアリマス、御承知ノ如ク一國ノ政治ニハ官治行政ト自治行政ガアル、官治行政ハ官吏ガ國家ノ權力ニ依ッテ行フ所ノ政治デアリマス、自治行政ハ其ノ地方住民ノ總意ニ依ッテ反映セラレタ所ノ政治デアアルノデアリマスカラ、其ノ間ニ大分隔リガアルノデアリマス、而シテ此ノ自治制ニ付キマシテハ、明治二十一年畏クモ明治大帝ガ自治制御發布ヲナサイマシタ其ノ時ノ御聖旨ヲ拜シマス、隣保團結ノ舊慣ヲ重シテ、住民ノ福利増進ニ力ヲ致セト云フ有難イ思召ヲ頂戴致シテ居ルノデアリマス、爾來自治制ニ於テ東京市ハ、此ノ御趣旨ニ依ッテ市民ノ福利増進ニ盡力シテ參ツコトハ多大デアルト思フノデアリマス、私ハ殊ニ三十年、阪谷、奥田、田尻、後藤市長以來十數代ノ市長ニ接觸シテ此ノ自治制ニ携ッテ居リマスガ、此ノ間東京市政ハ如何ニ此ノ厚生事業ニ盡力シテ來タカト云フコトハ、是ハ顯著ナ事實デアリマス、曩ニ自治制御發布五十周年記念日ニ今上陛下ヨリ畏クモ御勅語ヲ賜ッテ居ルノデアリマス、〔治績見ルベキモノアリ〕ト仰セラレ、重ネテ〔克ク私ヲ去リ公ニ奉シ規制ニ恪遵シテ益々自治ノ根柢ニ培ヒ以テ國家無疆ノ康福ヲ増進セムコトヲ期セヨ〕ト云フ有難イ思召ヲ頂戴シタノデアリマス、此ノ點カラ申シマシテ、東京市デ帝都七百萬市民ノ行政ト致シマシテハ、事柄ハ少シ違ヒマスガ、例ヘバ保健衛生ノ爲公園綠地ノ擴張計畫、或ハ水道ノ改良擴張、下水ノ新設、其ノ他有ラユル厚生事業ヲ行ッテ參ツノデアリマス、殊ニ此ノ一般市民ノ診療ニ付キマシテハ重大ナル關心ヲ持チ、殊ニ後藤サンガ市長時代ニハ病院ノ擴張ヤ市民救濟、「カールド」階

級ノ爲ニ無料ノ施療病院ヲ澤山造ツタ、是ハ所謂市民病院デアリマス、是ガ爲ニ市民ノ恩澤ヲ受クル者尠クナイノデアリマス、殊ニ結核療養所ノ如キハ丁度開設シマシテ十何年、大正九年デアリマスガ、建設費約一千二百萬圓、是ハ主ニ市債ニ依ツタノデアリマスガ、償還シタ残りガマダ六百萬圓未償還デアアルノデアリマス、ソレデ經費ガ年ニ二百五十萬圓掛ッテ居リマシテ、特定ノ國家ノ補助其ノ他ヲ引キマシテモ、少クトモ市民ガ百七八十萬圓負擔シテ療養所ヲ經營シテ參リマシテ、常ニ千二百人ノ「カールド」階級ノ診療ニ資シテ居リマス、更ニ進ンデ國策ニモ副ヒ、一昨年來千葉縣松戸ニ第二療養所ヲ計畫致シマシテ、本年五月頃竣功ノ見込デアリマス、而シテ其ノ收容人員ハ一千二百名、建設費ガ約四百萬圓以上デアリマス、斯様ニ東京市ガ結核療養ニ付テモ相當ノ苦心ト計畫ヲ立ッテ居ルノデアリマス、又此ノ法令ノ中ニ日本醫療團ハ左ノ業務ヲ行フコト、一病院、診療所及產院ノ建設及經營ト云フコトガアリマスガ、之ヲ見マス、東京市ガ永年育テ來タモノヲ此ノ團ニ收容サレルノカドウカト云フコトハ、東京市會ニ於テハ非常ナ關心ヲ持ッテ居ル、而モ日本醫療團ハ他ノ醫療施設ノ讓受又ハ借受ヲ爲スコトヲ得、ソレデ此ノ協議ガ整ハナイ時ニハ主務大臣ノ意見ニ依ッテ採決スル、何時如何ナル協議ニ依ッテ主務大臣ノ氣持デ東京市從來ノ病院、療養所、產院等ガ收容サレルノデヤナカラウカ、斯ウ云フコトニナリマスルト、今迄熱意ヲ籠メテ經營シタモノ、又市民ヲ代表シテ市政ニ參與スル者ノ側カラ申シマスルト、將來ノ見透シニ付テ極メテ危惧ノ

念ニ堪ヘヌノデアリマス、殊ニ築地病院ナド御承知デアリマセウガ、アレハ元々施療病院デ、震災前東京市ガヤリマシタ「カールド」階級救濟ノ社會事業病院デアリマス、此ノ病院ナドハ今日デ言フト、高度國防國家建設ニ非常ナ貢獻ヲシテ居ルノデアリマス、アレハ御承知ノ通り海軍軍醫學校ニ附屬ノ病院ガナク、築地病院ヲ軍醫學校ノ附屬病院トシテ、海軍ノオ醫者様ガ市民ノ爲ニ無料デ診療シテ下サルノデアリマス、而シテ其ノ經費ハ未ダ曾テ國カラ一文モ貰ッテナイ、市民自ラ之ヲ負擔シテ居ル、而シテ今日赫々タル戰果ヲ收メ、世界ヲ驚倒セシメタ海軍ノ醫療關係者ハ悉クアソコカラ出タ人デアリマス、例ヘバ軍醫局長ニ致シマシテモ、各海兵團ノ病院長ニ致シマシテモ、悉ク軍醫學校築地病院ニ關係シタ人バカリト私ハ見テ居リマス、斯様ニ一方ニ於テ市ノ病院デアリマスルケレドモ、海軍ノ醫療ニ付テハ、相倚リ相扶ケテ、極メテ國ノ爲ニ貢獻シテ居ル尊イ歴史ガアルノデアリマス、若シ斯ウ云フモノデモ、厚生大臣ノ御都合デ國ニ取ッテシマウト云フヤウナコトニナルト、極メテ重大ナ關係ヲ起シハシナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソコデ私ノ伺ヒタイノハ、先程申上ガマシタ自治體ガ、年來熱意ヲ籠メテ來タ厚生事業ニ對シテ、國ガ將來如何ナル方針ヲ持ツカ、此ノコト的確ニ伺ッテ置キタイノデアリマス、而シテ或ハ結核バカリヲ統合スルト仰セラレルカ知リマセヌガ、結核ヲ除ク一般診療部内ニ付テ、最小限度ノ體系整備上ニ必要ナルモノハ、新タニ大臣ノ決定ニ依リ移管スル趣旨ダト云フコトデアリマス、之ヲ具體的ニ例ヲ東京市ニ採リマスルト、如何ナル

場合ニ如何ナル市民病院ガ移管サレルノデ
セウカ、斯ウ云フコトヲ具體的ニ先ヅ以テ
御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○國務大臣(小泉親彦) 只今自治體ノ厚
生事業ヲドウスルカト云フ御話デゴザイマ
スルガ、此ノ諸般ノ厚生事業ハ極メテ國ノ
發展ノ上ニ重要ナモノデゴザイマシテ、是
等ハ益、育成シ、其ノ發展ヲ冀フノミデアリ
マシテ、是等總テノモノヲ直チニ國ガ自ラ爲
スト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌ、從ヒマ
シテ先程來色々御述ニナリマシタ社會事業的
施設トシテ御建テニナリマシタ病院等ヲ統
合スル意思モ全然持ッテ居リマセヌ、然ラバ
先程御述ニナリマシタヤウナ「カド」階級
ノ者等ニ對シテハ、唯自治體ノヤル儘ニ委シ
テ置クノカト云フ御反問モアルト思ヒマス
ガ、決シテサウ云フ氣持ハ持ッテ居リマセ
ヌノデ、今回提出致シマシタ國民健康保險
法中改正法律案、又先般公布見マシタ醫
療救護法ト云フヤウナモノノ活用ニ依リマ
シテ、一層自治體ノ厚生事業ト相並行シテ
其ノ完璧ヲ期シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第
デアリマス、而シテ東京市立ノ具體的ノ病
院ニ對シテ、具體的ノ説明ヲ求メルト云フ
御話ニ付キマシテハ、今私此處デ一々申上
ゲマシタ趣旨ニ依リマシテ處シテ行キタイ
ト存ジテ居リマス

○小坂梅吉君 極メテ抽象的デ、私ノ質問
ノ要點ニ御答ガナイヤウデアリマス、此ノ
團ヲ發案ナサル以上ニハ、少クモ六大都市
ニ對シテ相當ナ調査研究ヲ遂ゲラレテ、此
ノ團ノ案ガ通過スレバ是レハ直チニヤ
ルベキ筋合ノモノダト云フ位ナ御用意ガ
アツテ然ルベキモノデナイノデアリマセウ

カ

○政府委員(加藤於菟丸君) 只今ノ御答デ
ゴザイマスガ、今朝程河原田委員カラノ御
要求ニ依リマシテ、アラマシノ業務計畫ノ
豫定ヲ差上ゲテアルノデゴザイマスガ、具
體のニ東京市ノ市立病院ニ付キマシテ、之
ヲ其ノ儘統合致シマスカドウカト云フ問題
ニ付キマシテハ、只今ノ所デハ市立一般病
院ニシテ、直チニ醫療團ニ統合ヲ致スト云
フ目論見ノモノハゴザイマセヌト御答ヘシ
タ方ガ適當カト存ジマス

○小坂梅吉君 ヨク分リマシタ、直チニ統
合スルノ意思ハナイケレドモ、將來ニ於テ
ハ是ハ未確定ノモノデゴザイマスナ

○政府委員(加藤於菟丸君) 日本醫療團ハ
五箇年ノ計畫ヲ以テマシテ、御手許ニ配付
申上ゲマシタヤウナ資金ニ依リマシテ、一
應ノ事業ヲ完成スル豫定デゴザイマスガ、
其ノ五箇年ヲ通ジマシテノ計畫ニ先程申上
ゲタヤウナ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマ
ス、五箇年經過後ニ於キマシテモ、先ヅ東
京市ガ只今經營ヲ致シテ居リマス一般市民
病院ノ如キ、稍、輕費診療ト申シマスカ、御
述ニナリマシタ施療的ノ意味ヲ持ッテ居リ
マス如キモノハ、之ヲ統合スルコトハゴザ
イマスミイト考ヘテ居ルノデアリマス

○小坂梅吉君 此ノ點ハ將來自治體ノ運用
ニ付テ非常ニ關心ヲ持タル、アナタノ方
デシツカリ從來ノ社會事業ノ病院ハ統合シ
ナイ積リダトハッキリ言ッテ下サレバ、ハッ
キリ將來ニ於ケル市ノ經營ト云フモノハ立
ツト思ヒマス、ヤルカヤラナイカハッキリ分
ラナイガ、ヤラナイ積リダト云フコトデハ
極メテ不安ニ堪ヘナイノデアリマス
○政府委員(加藤於菟丸君) 市ノ左様ナ病

院ハ醫療團ノ設立ノ趣旨トハ別個ノ施設ノ
ヤウニ考ヘテ居リマスノデ、醫療團設立ノ
目的カラ申シマシテモ、將來ニ於キマシテ
モ先ヅ統合ヲスルト云フヤウナコトニハナ
ルミイト考ヘテ居ルノデアリマス

○小坂梅吉君 ナラナイト云フコトニ承知
シテ宜シウゴザイマスガ、實ハサウ云フコ
トヲ伺フノハ、近來官僚政治ガ段々強化サ
レテ、公共團體ノ育成シタ長年ノ仕事ヲ無
理ニ營團ヤ何カニ併合スル、例ヘバ東京市
ノヤウニ交通業ヲ市ガ苦心シテ發達セシメ
タルモノヲ交通營團ニ統合スル、又東京電
昔阪谷市長時代ニ東電ト日電ノ私立會社ガ
個人デ高イ電燈料ヲ取ル、市民生活ヲ脅ス
ト云フコトデ奥田サンハ東京市配電事業ヲ
起シタ、サウシテ此ノ電燈料ヲ下ゲタノデ
アリマス、而シテ奥田サンハ三年協定ト云
フ、所謂市民本位ノ電燈料ヲ協定シテシマ
タノデアリマスガ、其ノ配電問題ダツテ矢
張り國家ノ都合ダト云ッテ國デ統合シタ、長
年、東京市民ノ爲ニ働イテ來タ配電業者ハ
御國ガ入用ダト云ヘバ直グ統合スル、此ノ
ヤウナ官僚政治ガ強化サレル時デアルカラ、
私ハ將來ニ付テノ見透シヲ伺フノデアリマ
ス、尙一點伺ッテ置キタイノハ、結局肺結核
ノ療養所ダケハアナタノ方デ統合スル御意
思デアリマスネ、サウスルト他ノ病院ハ別
ニ現在デハ統合シナイト云フノデアリマス
ネ、サウスルト一體其ノ組織體系ノ整備ヲ
必要ダト云フノデアリマスカラ、サウスレ
バ總テノ肺結核ノ治療ト云フモノハ、今度
ハ團ガ直營スベキ筋合デハナイカト考ヘル
ノデアリマス、サウデアリマスガ
○政府委員(武井群嗣君) 先程御尋ニ付キ
マシテ加藤政府委員ヨリ御答ヘシタコトデ

アリマスガ、第一ノ點ニ付キマシテハ御指
摘ノヤウナ社會事業的ナ病院ニ付キマシテ
ハ、之ヲ日本醫療團ニ統合セシメザル所存
デゴザイマス、ソレカラ第二ノ點ニ付キマ
シテハ、結核ニ付キマシテハ大體從來結核
豫防法ノ施行ニ依リマシテ、公立病院ヲ原
則トシテ一定ノ方針ノ下ニ指導シテ參ッテ居
ルモノガアルノデアリマス、大部分ノモノ
ハ公費ヲ以テ今日療養セシメツ、アル譯デ
アリマス、現下ノ實情ガ結核ヲ速カニ豫防
撲滅スル必要ガアリマスノデ、日本醫療團ノ
設立ニ依リマシテ、是等公立ノ結核療養所
ハ、成ルベク速カニ日本醫療團ニ統合セシ
メテ、一ツノ方針ノ下ニ結核ノ撲滅ヲ圖リタ
イト考ヘマス、併シナガラ此ノ場合ニ於キ
マシテモ、慈善事業的ナ結核療養所ノ如キ
ハ現在通り其ノ特權ヲ存續セシメテ、醫療
團ニハ統合セシメザル所存デアリマス
○小坂梅吉君 尙伺ヒマス、サウスルト現
在ノ市ノ中野ノ療養所並ニ今竣工ニ近ヅイ
テ居ル第二療養所ハ、今度團ガ統合スルノ
デアリマスネ、ソコデ尙伺ヒタイノハ民間
ノ委託患者デスガ、迎モ現在ノ療養所ニハ
多數ノ「カド」階級ノ結核患者ヲ收容スル
ダケノ設備ガナイ、已ムヲ得ズニ民間病院
ニ委託シテ居ルノデアリマス、市ガ三千人
モ是等ノモノヲ療養シテ居ル、此ノ始末ハ
ドウナルノデアリマスガ
○政府委員(武井群嗣君) 只今御指摘ノ委
託ノ病院ノ如キ民營デ致シテ居ルモノニ付
キマシテハ、日本醫療團ニ之ヲ統合シナイ
所存デアリマス
○小坂梅吉君 サウスルト現在ニ於ケル、
市ガ民間病院ニ委託シテアル三千ノ患者ノ
始末ト云フモノハ付カナイノデアリマスネ、

ソレデハ團ヲ作ル趣旨目的ニ反シハシマセヌカ

○政府委員(加藤於菟丸君) 只今御尋ノ此ノ委託患者多數ノモノニ付キマシテハ、成ルベク速カニ醫療團ノ手ヲ以チマシテ新設致シマスル療養所ニ收容ヲ致ス方針デアリマスガ、其ノ間若干ノ期間ニ於キマシテハ、矢張り從前通り東京市ニ於キマシテ、引續キ委託ヲ續ケテ行カレル等ノ方法ヲ考ヘマスコトガ必要カト存ジテ居ルノデアリマス

○小坂梅吉君 詰リ東京市ガ設備完全ナ療養所ガナイカラ、氣ノ毒ナ患者ヲ私ノ病院ヘ委託シテ診療ヲ御願ヒシタ、處ガ完全ニ治療ノ出來ル病院ハ國ガ取ツテシマツテ不完全ナ病院、而モ是ハ私立病院ニナリマスカラ算盤ヲ探ツテモノデアリマスカラ、患者ニ對スル待遇ハ市ノ直營ノ療養所ヨリ惡イト云フコトハ世間周知ノ事實デアリマス、斯様ナ憫ムベキ三千ノ患者ヲ放ツテ置イテ、完全ナル所ノ病院ダケヲ國ガ取ルト云フコトハ理窟ニナラナイト思ヒマスガ……

○政府委員(加藤於菟丸君) 一應御尤モノヤウニモ拜承スルノデアリマスガ、醫療團ハ今日迄ノ實績カラ考ヘマシテ、急速ニ結核ノ療養施設ヲ増加致シマスルコトヲ一ツノ重要ナ目標トシテ居ルノデアリマシテ、從ツテ之ヲ東京市ニ付テ申上ゲマシテモ、新タニ八萬「ベッド」ヲ作リマス以上、其ノ中相當ノモノガ矢張り東京市民ヲ對象ト致シテ新設セラレ、ソレカラ只今御述ニナリマシタヤウナ不自由ナ、不都合ナ療養生活ヲ忍ンデ居リマス人々ノ爲ニモ、一日モ速カニ新設ノ「ベッド」ニ之ヲ收容スル手段ヲ講ジタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマスカ、既存ノ東京市ノ持ッテ居リマスル公立ノ

療養所ヲ醫療團ニ統合致シマスル趣旨ハ、格別是ハ東京市ト縁ヲ切ツテシマヒマスル譯デモゴザイマセズ、矢張り東京市民ノ療養施設トシテ東京市ニ存續致シマスルノミナラズ、此ノ既存ノモノハ東京市デ引續キセシメル、新シイモノハ醫療團デ新設經營スルト云フ兩建ニナリマスルコトハ、公立若シクハ之ニ準ズベキ國ノ醫療、結核施設ノ將來ノ運營上各種ノ觀點カラ致シマシテ、却テ不都合ヲ生ズル場合ガ多イト考ヘマスノ

○小坂梅吉君 尙續イテ伺ヒタイト思ヒマス、サウ致シマスルト、此ノ團ノ目的ト云フモノハ結核ニ重點ヲ置イタ譯デスナ

○政府委員(加藤於菟丸君) 醫療團ヲ設立致シマスル目的ニ付キマシテハ、午前中大臣ヨリ御説明申上ゲマシタヤウニ一面ニハ結核ノ撲滅、一面ニハ無醫地ノ解消ト云フヤウナコトヲ目標ト致シマシテ、併セテ醫療內容ノ全國的、一般的ノ向上ヲ企圖スルト云フヤウナ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマスルガ、現下ノ事情ニ鑑ミマシテ、結核撲滅ト云フ此ノ目的ニ、極メテ重點ヲ置イテ居リマスルコトハ御尋ノ通りニ考ヘテ居ルノデアリマス

○小坂梅吉君 能ク分リマシタ、尙續イテ伺ヒマスガ、組織、體系整備上必要デアアル

カラ、マア斯ウ云フヤウニ統合スルト云フコトニナリマス、例ヘバ結核豫防會ダトカ、濟生會ダトカ云フヤウナ所ニモ矢張り結核ノ診療所ガアルデセウ、ソレヲ何故ニ統合シナイノデスカ

○政府委員(加藤於菟丸君) 結核ノ診療機關ハ、經營主體ガ御話ノヤウニ相當現ニ分レテ居リマシテ、現下重大ナ問題デアリマスダケニ、各方面共ニ力ヲ注イデヤッテ居ル現狀デゴザイマスルガ、醫療團ト致シマシテハ、差向キ全國ニ十萬「ベッド」ノ療養施設ヲ設ケマシテ、之ヲ全國的ニ統合經營シテ參リマスルコトヲ一ツノ目的ト致シテハ居リマスルガ、結核施設全部民間、半官位ナモノヲ一手ニ收メテ參リマスルコトハ、其ノ適否ニ付テモ十分考慮ノ餘地、研究ノ必要モゴザイマスルシ、實際問題ト致シマシテハ、直チニ左様ナコトヲ致スコトハ寧ロ差控ヘタ方ガ宜シカラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスルノデアリマス、從ヒマシテ濟生會其ノ他ノモノハ、其ノ方面デ今後一段ト力ヲ注イデ戴クコトニ致シマシテ、唯醫療團設立後ニ於キマシテハ、各機關トノ連絡ト云フヤウナ方面ニハ十分ノ注意ヲ拂ッテ行クコトガ大切デヤナカラウカト存ジマス

○小坂梅吉君 サウ致シマス、今申上ゲタ濟生會其ノ他ノ結核診療所ハ團ニハ統合シナイ、唯連絡ヲ密ニシテ結核撲滅ノ爲ニ邁進シヨウ、斯ウ云フノデスカ、サウシタナラバ何故矢張り公共團體ガ今迄ヤツモノヲアナタノ方デ差控ヘテ、アナタノ方デハ監督官廳ダカラ十分監督指導シテ、何モ統合スル必要ハナインデヤナイカ、ソコニ矛盾ガアリハシナイカ、一體全體皆、濟生會デモ何デモヤルト云フノナラバ、ソコニ

國策トシテ統一スルト云フコトノ建前デアルト云フコトニナリマスガ、片ッ方ハヤラナイデ、公共團體ノモノダケヤルト云フノハ……御承知ノ如ク公共團體ハ法規ニ依ッテ國家ノ機關デアリマシテ、財政ノ上カラ言ヒマシテモ殆ド伸縮自在デアリマスカラシテ、團ガ一億ノ資本デヤルヨリモ公共團體、例ヘバ東京市ダケノ問題デハナイ、六大都市ノ重大ナ關心ヲ持ッテ居ルコトデアアル、大都市ニ委シテ置イタ方ガ却テ私ハ、アナタノ方デ監督指導シテヤツタ方ガ宜インデヤナイカ、餘計ナ手數ヲ掛ケテ團ガ御世話シナイデモ、永年今迄貴イ經驗ト歴史ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テハハッキリ伺ッデ置キタイト思ヒマス

○政府委員(加藤於菟丸君) 公共團體ノ就中東京市初メ六大都市等ニ於キマシテ經營シテ居リマスル結核療養施設、是ハ御承知ノヤウニ結核豫防法ニ基ク建設命令ヲ受ケマシテ、建設費ニ付キマシテハ三分ノ一ノ國庫補助ヲ受ケ、尙建設後ノ經常費ニ付キマシテモ四分ノ一ノ國庫補助ヲ受ケマシテ、國ノ命令ニ基ク機關ト致シマシテ、經營シテ居ルモノデゴザイマシテ、之ヲ然ラザル他ノ結核施設ト較ベマス、其ノ本質ニ於キマシテ先ヅ相當異ツタモノト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、即チ公ノ必要ニ依リマシテ、或ハ國家ノ必要ニ基キマシテ國家ノ助成ノ下ニ設置、經營ヲ致シテ居リマスルモノデゴザイマスル點ニ於キマシテ、他ノ施設トハ其ノ性質ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマスガ、今後ニ於キマシテハ國ガ一億ヲ出資致シマシテ、先ヅ五箇年間ニ十萬「ベッド」獲得ヲ目標ト致シマシテ、大々的ニ結核療養施設ノ擴充ヲ圖ル、即チ從來ノ方法

ニ依ッテハ必ズシモ速カニ此ノ目標ガ實現
困難ト考ヘラレマスルノデ、纏メテ一億圓
ノ金ヲ醫療團ニ出資シマシテ、此ノ資金ヲ
以チマシテ急速ニ「ベッド」ノ急設ヲ圖ルト
云フ、今後斯様ナ方式、國策ヲ實施シテ參
リマス以上ハ、既存ノ只今申上ゲマシタヤ
ウナ性質ノモノニ對シマシテ、引續キ從來
通りノ國庫補助等ノ途ヲ講ズルコトハ、形
ノ上カラ行キマシテモ困難ト相成ッテ參ル
コトモアリマスシ、殊ニ本質ガ斯クノ如
キ既存ノ療養所ハ寧ロ此ノ際將來新設致シ
マスル醫療團ニ統合致シマシテ、併セ經營
スルコトガ最モ一體トナッテ目的ヲ達成致
シマスル上ニ適當ナル、斯様ニ政府ハ考
ヘマシタ次第デゴザイマス

○小坂梅吉君 サウスルト濟生會其ノ他ニ
ハ特定ノ財産ガアルカラ宜イ、公共團體ノ
ヤウナモノハ四分ノ一國家ガ補助スルカラ
シテサウ云フモノハ皆國家ガ取上ゲル、斯
ウ云フコトニナル譯デスネ、併シハ國ガ
結核療養所ヲヤッテモ國家ガ補助スルコト
ナク、自給自足デ行キマスガ、其ノ點ヲ伺ッ
テ置キタイ、國ガ結核ノ診療所ヲ拵ヘテ、
今度國費ヲ以テ之ヲ補助スルト云フコトニ
ナレバ、右ノ手カラ出シタノ左ノ手カラ
出スト同ジヤウナコトデ、東京市ハ四分ノ
一補助スルノ今度ハ國ヘ持ッテ行ッテ、足
リナイ所ヲ補助スルノモ同ジ理窟ニナリヤ
シナイカ、サウナリマスト從來ヤッテ居ルモ
ノハ其ノ儘ニシテ、新タニ厚生省デ理想的
ナ、完全ナル療養所ヲ作ッテ、新タニ收容シ
テヤツタ方ガ却テ便利デヤナカラウカト思
フ、既存ノ立派ニヤッテ居ルモノヲ無理ニ取
上ゲテ、サウシテ新規ニソレヲ國ガ經營ス
ルトカ、國ガ經營スルトカ云フコトハ甚ダ

面白クナイト思フ

○政府委員(武井群嗣君) 濟生會病院、結
核豫防會附屬ノ病院等ヲ統合シナイカト云
フ御尋カラ發シマシテ、色々御答ヘ致シタ
譯デアリマス、濟生會ニ付キマシテハ特別
ナ目的ノアルコトハ御承知ノ通り、其ノ御
趣旨ニ依ッテ進メルノガ適當ト思フテ居リマ
ス、結核豫防會ニ付キマシテハ、結核豫防
ノ事業ヲ進メル爲ノ研究機關デアリマスル
ノデ、此ノ儘ニ進メテ、研究ヲ一層深ク掘
リ下ゲサセルヤウニスルコトガ適當ト思フ
テ居ル譯デアリマス、斯様ナ譯デアリマス
ノデ、第一ノ御尋ニ對スル御答ハ濟ンダト
思ヒマスルガ、其ノ後ニ御話ニナリマシタ
公共團體ニアルモノヲ取ラスデモ宜イデヤ
ナイカ、監督サヘスレバ宜イデヤナイカト
云フ御趣旨ノヤウニモ拜聽致シタノデアリ
マスガ、成ル程監督スレバ宜イト云ヘバー
應其ノ通りデアリマスルガ、政府ト致シマ
シテハ先程モ最初ニ大臣ノ説明モアリ、又
今加藤政府委員ヨリモ繰返シテ述ベマシタ
ヤウニ、醫療團ノ由來ト致シマシテハ、結
核ノ撲滅ト無醫地域ノ解消ト目的ト致シ
マスルガ、併セテ醫療內容ノ向上ヲ圖ラウ
ト云フコトニ大キナ目的ヲ存シテ居ル譯デ
アリマス、先程申シマシタヤウニ、今日迄
公立ノ結核療養所等ニ付キマシテハ、政府
ハ所謂監督指導等ヲ致シテ居リマスケレド
モ、今日迄ノ實情ニ鑑ミマスルト、結核ノ
豫防撲滅ニ關スル施設及ビ其ノ事業內容等
ニ付キマシテハ、マダ遺憾ノ點ガ尠カラズア
ル譯デアリマス、勿論只今其ノ數ノ不足シテ居
ル點モアリマスルシ、ソレカラ結核ノ非常ニ多
イ地方デアッテ、豫防撲滅ノ施設ヲ多ク設ケ
ナケレバナラスニ拘ラズ、經濟上ノ負擔ニ

堪ヘ兼ねテ、療養所ノ設備等ガ少イ地方モ
相當アル譯デアリマスカラ、全國的ニ見マシテ
是カラ豫防施設ガ欲シイ、療養所ヲ急速ニ
建デナケレバナラスト云、所ニ、地方公共
團體ニ委シテ居ッテハ出來ジイ、ソレデ全國
ヲ打ッテ一丸トナシテ醫療團ヲシテ爲サシメ
ルト云フコトモアリマスルガ、モウ一ツ
醫療內容ノ向上ト云フコトニ付キマシテハ、
先程申シマシタヤウニ、官營ト云フコトダ
ケデハドウシテモ結核豫防撲滅ニハ足ラヌ
ノデアリマス、私共之ヲ常ニ有機體或ハ
體系ト申シテ居リマスガ、斯様ナ見地カラ
言ヒマス、今日地方ニアリマスモノハ胴
體力或ハ手足カト云フモノデアリマシテ、
今日ノ實情ハ實ハバラ／＼ニナッテ居ルノ
デアリマス、是等ノ胴體 手足等ニ更ニ頭
ヲ附ケテ、サウシテ一ツノ有機體的ノ體系
ヲ作りマシテ、サウシテ結核豫防撲滅等ニ付
キマシテ清新、最新、日進科學ヲ採用致シ
マシテ、サウシテ隅々迄ノ豫防施設ニ對シ
マシテ此ノ療養ノ方法ヲシテヤリタイ、即
チ醫療內容ノ向上ヲシテヤリタイ云フノ
デアリマス、是モ監督デ出來ルデヤナイカ
ト仰シタルバソレ迄デアリマスガ、今
日ノ地方公共團體ノ實情デアリマスレバ、
例ヘバ此ノ療法ガ宜シイ、或ハ斯ウ云フ
藥ガ宜シイト云フヤウナコトガ研究ノ結果
發見サレマシテモ、之ヲ各地方公共團體ニ
一律ニ強要スル譯ニモ參リマセヌ實情デア
リマス、日本醫療團ニ於キマシテ、一方ニ
於キマシテハ専門的ノ研究機關ヲ持チマシ
テ、全醫界ヲ總動員致シマシテ是等ノ研究
工夫ヲ致シ、其ノ結果ヲ直チニ津々浦々ノ
療養所迄ニモ及スト云フコトガ必要ナ譯デ
アリマスノデ、醫療團ト致シマシテ其ノ

目的ニ醫療內容ノ向上ト云フコトヲ掲ゲマ
シタノハサウ云フ意味デアリマス、左様致
シマスルナラバ、公共團體ニ委シテ置クヨ
リモ一層效果ノアルコトガ出來ルダラウト
思フ、旁、各府縣ノ實情ニ於テ醫療上施設ス
ベクシテ爲シ得ナイ地方モ相當アル譯デア
リマスルカラ、是等ヲ見計ラヒマシテ、茲
ニ日本醫療團ト云フ組織ヲ考ヘテ、之ニヤ
ラセヨウト云フ譯デアリマス、ソレナラバ
國ガヤレバ宜イデハナイカト云フコトハ、
ソレモ一ツノ考案デアリマスケレドモ、國
家ガ直接ニ斯様ナコトヲスルト云フコトハ、
理想ハ結構デアリマスケレドモ、實際問題
トシテナカ／＼手ノ及ビ兼ねル所モアリマ
ス、一面ニ於テハ開業醫ノ心カラノ協力ヲ
俟タナケレバナリマセヌノデ、國家ガヤル
ト云フコトニ付テハ特ニ慎重ナル考慮ヲ要
スルコトデアリマスカラ、所謂醫療團營ト
云フ考ハ全然持タズ、サレバト云ッテ地方
公共團體ニ委シテ居ッテモイカヌ譯デアリ
マスノデ、茲ニ特別ノ法人ヲ作り、相當ノ
資金ヲ持ッテ、サウシテ全醫界ノ協力ヲ求
メツ、結核豫防撲滅ノ醫療內容ノ向上ヲ圖リ
タイト斯様ニ考ヘタ次第デアリマス

○小坂梅吉君 大體ニ御答辯ニ依リマシテ
了承、満足ハ致シマセヌケレドモ、稍、分ッ
テデアリマス、世間デ斯ウ云フコトヲ言フ
ノデスガ、ソレニ付テ率直ナ御答ヲ願ヒタ
イ、今日ハ政府ガ營團々々ト云ッテ色々ナ
營團ヲ作ッテヤルモスデノカラ、一方デハ……
是ハ營ノ字ガ拔ケテ居リマスガ、營團ミタ
イナモノデハナイカ、一體豫算ニモ關係ガア
リマスケレドモ、此ノ根本ハ一億ノ資金ヲ
政府ガ出シテ、サウシテ又ソレニ對スル五倍
ノ融通ガ付クノデアリマスガ、是ハ自給自

足行クノデアリマス、或ハ足りナイ部
分ハ國家ガドシ、出シテヤル積リデスカ
○政府委員(武井群嗣君) 卒直ノ御尋デア
リマス、デ卒直ニ御答ヘ致シマスガ、實ハ相
當近年營團ト云フ新シイ法制ガ生レテ居リ
マシテ、事業ヲヤツテ居リマスコトハ御話ノ
通りデアリマス、此ノ醫療團ヲ考ヘルニ付キ
マシテモ、醫療營團ト云フヤウナ考デ行カウ
カト云フコトモ當初ハ考ヘテ見タノデアリ
マスガ、醫療ニ付キマシテ醫療營團ト云フ
字ヲ使フコトハ、假令法制上ノ見地ニ於テ
差支ナイト致シマシテモ、今御話ノヤウナ
誤解ナリ、批評ナリスル向モアルコトデア
リマス、特ニ醫療營團ノ營ノ字ヲ避ケ
マシテ、日本醫療團ト云フ一ツノ固有名詞
ヲ作ルコトニ致シタノデアリマス、學者ガ
之ヲ研究スルコトニナリマスレバ、或ハ營
團ト云フ一ツノ範疇ノ中ニ入ルカモ知レマ
セス、併シナガラ私共ノ立案致シマシタ心
持ハ、飽ク迄モ其ノトモスルト世間ニ噂ノ
アリマスヤウナ營團ト云フヤウナ考ヲナク
シヨウ、ソレニハ文字カラナクス方ガ宜カ
ラウト云フ考カラ參ッテ譯デアリマス、從ヒ
マシテ日本醫療團ニ付キマシテハ政府ノ出
資一億、之ニ五倍スル醫療債券ヲ發行致シ
マスガ、サウシテ一般診療ト結核ノ豫防對
策ハ致シマス譯デアリマス、一般診療ニ付
キマシテハ大體收支償フ見込デアリマス、
結核ニ付テハ固ヨリ收支ガ付カナイ積リデ
アリマス、ソコデ一般診療ヲ儲ケタモノデ
結核ヲヤツタ宜イデヤナイカト云フ說モ
ナイ譯デアリマス、適正ナル醫療ヲ與ヘ得
ル上ニ於キマシテハ宜シクナイコトデゴザ
イマス、會計ハ二ツニ分ケマシテ、一

般診療ノ方ハ一般會計デ致シ、飽ク迄モ收
支償フト云フ所ノ限度ト致シマス、結核ノ
對策ニ付キマシテハ之ヲ特別會計ニ致シマ
シテ經營スル積リデゴザイマス、從ッテ結核
ノ診療ニ付キマシテハ固ヨリ損失ガ出ル譯
デアリマス、此ノコトハ當初ヨリ豫定致シ
テ居リマス、其ノ不足ニ付キマシテハ
毎年度豫算ノ範圍内ニ於キマシテ、政府ヨ
リ日本醫療團ニ補助スルコトニナッテ居リマ
ス、ソレナラドレ位補助スルカト云フコト
モ出ル譯デアリマスガ、初メカラ幾ラノ
補助スルコト云フコトハハッキリ致シテ置
キマス、又之ヲ經營スル者ガ幾ラ損失シ
テモ構ハナイノダカラト云フ、放漫ナル經
營スル虞モアリマス、此ノ補助金ニ
付キマシテハ毎年度豫算編成ノ際ニ考慮ス
ルト云フ建前ヲ執ッテ譯デアリマス
○小坂梅吉君 ケレドモ國ガ金ヲ支出スル
ノデ、政府當局デモアラマシ年度ニ於テ幾
ラ位出スト云フ見透シガナケレバナラスト
思フ、例ヘバアナタノ方デ豫算ヲ組ム上ニ
於テモ幾ラ位、ソレハ秘密會ニシテデモ宜
シウゴザイマスガ、幾ラ位年國カラ支出ス
ルコトニナルノデスカ、結核ノ方ニ付
テ……、是ハ國ノ財政ニモ關係スルコトデゴ
ザイマス、カ……
○政府委員(武井群嗣君) 十七年度ノ豫算
ニ付キマシテハ從來通りノ補助金ヲ計上シ
テ居ル譯デアリマス、十八年度以降ノ問題
ニ於キマシテハ、大體日本醫療團ハ議會ニ
於ケル協賛ヲ經テ御裁可公布ノ後四、五、
六ノ三月ヲ設立ノ準備期間ト致シデアリマ
ス、此ノ間ニ於キマシテ關係各方面ノ方ニ
御委囑致シマシテ、創立委員トデモ云フヤ
ウナモノヲ御願ヒ致シテ、此ノ準備ヲ整ヘ

ルコトニナリマス、左様ニ致シマシテ愈々七
月ニナリマシテ、日本醫療團ヲ設立スル積
リデゴザイマス、ソコデ此ノ醫療團ガ是カ
ラ經營スルコトニナル譯デアリマスガ、
何分ニモ其ノ時ヨリ新シク或ハ療養所ヲ設
置シ、或ハ公立病院等ヲ統合スルト云フコ
トヲ始メテ譯デアリマス、從ッテ茲ニ缺損
ノ生ズルノハ結核デアリマスガ、此ノ缺損
ガドノ位生ズルカト云フコトニ付キマシテ
ハ、十八年度以降ノモノニ付キマシテ、豫
メドノ位ト云フ見積リハ全然ナイノデゴザ
イマス、此ノコトヲアリノ儘ニ申上ゲテ御
了解ヲ得タイト存ジマス
○小坂梅吉君 處デ世間デ誤解ヲ招イテ居
リマシテ、「カール」階級ノ市民ガ今迄結核
療養所ニ行ッテモ、只デ市ガヤツデ呉レル、
市民病院ニ行ケバ只治療シテ呉レル、誠ニ
有難イト感激シテ居ルノデアリマス、今度
何カ團ト云フカ、營團ノヤウナモノガ出
來ルト、今迄無料デ診療ヲ受ケタモノガ有
料ニナリハシナイカ、斯ウ云フ疑ヲ世間デ
持ツ者モ尠クナイノデアリマス、此ノ點ハ
ドウゾ誤解ノナイヤウニ、一ツ政府當局デ
宣傳シテ戴キタイト思フノデアリマス、尙
續イテ伺ヒタイノハ、今御言明ニナリマシ
タ療養所ヲ團ニ御移シニナルニ付テ、此ノ
赤字ノ市債ノ未償還ニ付テハ、政府當局ハ
ドウ考ヘテ居リマスカ
○政府委員(加藤於菟丸君) 既存ノモノヲ
統合致シマス場合ニ、既存ノモノノ爲ニ市
ガ借入シマシタ市債ノ内ノ未償還額ヲ、統
合ノ場合ニドウ處置スルカト云フ御質問ト
承ッタノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシ
テハ尙今後醫療團ノ運營、計畫其ノ他ニ付キ
マシテ詳細ナル具體的ノ方針ヲ決定致シマ

シタ上デ、市其ノ他ト交渉ヲ致シマスコト
ガ適當カト考ヘテ居ルノデアリマス
○小坂梅吉君 其ノ點ニ付テハ十分公共團
體ニ同情ヲ持ッテ善處シテ戴キタイノデス、
仕事ハ取ツタ、借金ハオ前ノ方デ返セデハ公
共團體ハ泣キ面ニ蜂デアリマス、ドウゾ其
ノ點ハ能ク考慮ニ置イテ戴キタイト思ヒマ
ス、私素人デ何カ分リマセマスガ、此ノ團ニ
付テノ役員ガ出來ルサウデ、參與トカ或
ハ理事トカ云フモノガ出來ルサウデアリマ
スガ、是ハ厚生大臣ガ任命スル譯デセウナ
○政府委員(武井群嗣君) 先ヅ前段ノ御希
望ノ點デアリマスガ、公立ノ病院其ノ他ヲ
統合スル場合ニ於テ、從來ノ經營者ニ損失
ヲ及サナイコトハ當然ノコトデアリマス、
ガト申シテ又醫療團ニ之ヲ移管シタ爲ニ、
從來病氣ノ療養等ノ爲ニ投ジタ公共團體ガ
儲カッタ、出スベカリシ金ガ出サズニ濟ンダ
ト云フヤウナコトモ如何カト思ヒマス、其ノ點
ヲハッキリ申上ゲテ置キマス、第二ノ御尋ノ
役員ニ付キマシテハ、厚生大臣ガ之ヲ任命
スル譯デアリマス
○小坂梅吉君 ソレカラ尙伺ヒマスガ、地
方長官ヲヤルト云フコトガ明文ニアルサウ
マデスカ
○政府委員(武井群嗣君) ゴザイマス、法
案ノ第四十六條デゴザイマス
○小坂梅吉君 地方長官ヲ役員ニスルノデ
スカ、其ノ外ニ此ノ理事トカ何トカ云フ、
ソレニ關係スル役人ガアルノデゴザイマス
カネ
○政府委員(加藤於菟丸君) 醫療團ノ役員
ニ關スル規定ハ四十二條ニゴザイマシテ、
總裁、副總裁各一人、理事五人以上、監事

二人以上ヲ置キマスノデゴザイマス、其ノ外ニ只今御尋ノゴザイマシタ四十六條デ日本醫療團ニ參與理事ヲ置キ、地方長官ノ職ニ在ル者ヲ以テ之ニ充テル規定ニナッテ居リマス

○小坂梅吉君 大都市アタリデハ地方長官ナドハ餘リ厚生事業ニ深ク關係シテ居ナイ、例ヘバ帝都ニ於テハ知事ハ松澤ノ氣狂病院ダケヤッテ居ル、一向市民ノ厚生事業、衛生事業ニ付テハ、經驗モナケレバ堪能デモナイト私ハ思フ、殊ニ近來地方長官ノ頻繁ニ更迭スル關係上、其ノ地方ノ事情ニハ全ク慣レナイ、漸ク慣レタト思フト直グ近頃ハ首ニナツタリ、迭ツタリ、一向府民トシテモ心許ナイ、サウ云フ人ヲアルナラバ長年六大都市アタリデ市長トシ、助役トシテ此ノ仕事ニ興味ヲ持ッテ研究シ、經驗ヲ積ンダ者ヲナゼ此ノ中ニ入レナイカ、チヨット御尋ネ致シタイノデス

○政府委員(加藤嘉郎君) 只今ノ御尋デゴザイマスルガ、地方長官ノ職ニ在リマスル者ヲ日本醫療團ノ參與理事ノ地位ニ充テマスル規定ヲ設ケマシタ趣旨ヲ簡單ニ申上ゲタイト存ジマスガ、日本醫療團ハ先程來申上ゲマスヤウニ、一面ニ於キマシテハ、結核ノ豫防施設擴充ニ且經營ニ從事致シマスルト同時ニ、他ノ部面ニ於キマシテハ、全國的ニ最小限度ノ一般醫療機關ノ組織體系ヲ持チマシテ、各府縣毎ニ或ハ府縣内ニモ隨所ニ必要ナル診療機關ヲ或ハ新設シ、或ハ統合致シマシテ、之ガ經營ニ當ル譯デゴザイマス、左様ナ見地カラ致シマシテ、ドウシテモ醫療團ノ地方組織ト致シマシテハ全國的ニ之ヲ必要トスル點ハ、例ヘバ住宅營團ノ如キ局地的ノモノトハ先ヅ異ルヤ

ウニ考ヘテ居リマス、從ヒマシテ全國的ニ地方組織、地方機關ヲ必要ト致スノデアリマスルガ、扱キノ場合ニ何人ヲ以テ其ノ機關ノ代表者ヲラシムルノガ適當カト云フ問題ガ起ッテ參ルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ一般國政及自治政ニ總括參與致シテ居リマシテ、就中此ノ結核ノ施設ヲ新設致シマスル場合ニ、御承知ノ通りナカナカ敷地ノ問題等ニ付キマシテモ困難ヲ感ズル事例ガアリマス、左様ナ場合ニ矢張り地方長官ガ之ニ參與致シテ居リマスルコトハ、斯様ナコトヲ圓滿ニ解決シテ參リマシ上ニモ必要ノヤウニ考ヘテ居リマス、尙一般ノ醫師ト醫療團トノ關係等ヲ圓滿ニ遂行致シテ參リマス爲ニモ、地方長官ノ職ニアリマスモノヲ以テ地方組織ノ主體ト致シマスコトガ最も適當デアラウ、左様ニ考ヘマシテ、必要且適當ナル結論ト致シマシテハ地方長官ノ職ニ在ル者ヲ以テ參與理事ニ充テルト云フノガ本案ノ内容ト相成ツタノデアリマス、ソコデ御尋ノゴザイマシタ六大都市或ハ東京市等ニ於キマシテ、多年市長等ノ職ニ在ル者等ヲ矢張り此ノ醫療團ノ組織ノ中ニ入レルノガ宜イデヤナイカト云フ御意見ハ御尤ノヤウニ拜承致シマシタ、醫療團ノ役員ト致シマシテハ先程申サレマシタヤウニ、總裁、副總裁、理事五人以上、監事二人以上、其ノ役員ノ人選等ハマダ只今ノ處具體的ニナッテ居ラナイヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、尙現ニ市長ノ職ニアリマスル者、六大都市ノ如キ關係ノ深い土地ニ於テ特ニ現ニ市長ノ職ニアリマスル者ハ、知事ヨリモ却テ病院ニ關係ヲシテ居ルト云フヤウナ御話モアリマシタガ、當然醫療團運營ノ場合ニ於キマシテハ、六

大都市ノ市長ノ如キ地位ニアリマス者ハ醫療團ノ關係者ト致シマシテハ十分ノ御協力ヲ願フヤウナ仕組ニスルコトガ適當デハナカラウカト考ヘタノデアリマス

○小坂梅吉君 大體私ノ質問ハ終リマスガ最後ニ希望旁、御願ヒ致シテ置クノデアリマス、將來此ノ事業ニ關係シテ勅令又ハ命令等ガ發布ニナリマス前ニ御研究ノ際ニハ、長キ經驗ノアル大都市ノ厚生事業ニ關係シタル者ノ意見ヲ徵シテ貰フ、或ハ衆智ヲ集メタルト云フ意味ニ於テ一ツ協力ヲ求メテ貰ヒタイト思ヒマス、尙又從來此ノ療養所カ何カニ長年格勤精勵セウレタ醫院職員、又雇傭員等ニ付キマシテモ、移管セラレテモ從來ノ地位待遇等ヲ尊重シテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ希望トシテ申上ゲマス、是デ私ハ質問ヲ打切りマス

○男爵高木喜寬君 此ハ此ノ法案ハ非常ニ結構ナ法案デ賛成スルモノデアリマスガ、六ツバカリ御質問致シタイト思フノデアリマス、先ヅ第一ニ本朝申上ゲマシタガ、結核ヲ撲滅スルコトハ我が國ノ最大急務デアリマスノデ、是ガ進メバ亡國病ト云フヤウナモノニナル譯デアリマスガ、結核ハ結核菌ガ直接働クノ外ニ其ノ環境ガ大イニ影響スルモノデアリマス、從ッテ此ノ病氣ヲ助長スルモノハ不良住宅或ハ榮養不良、休養不足等ノモノガアリマスガ、厚生省ハ是等ニ對シテドウ云フ方法ヲ考ヘテ居ラレマスカ、先ヅソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

マシテ、結核ハ不治ノ病デナイ、早ク發見シ之ヲ治セバ必ズ治ルモノダト云フ信念ヲ植付ケナケレバナラスノデアリマスガ、ソレニ致シマシテモ今御舉ゲナリマシタ不良住宅、榮養、休養ノ問題等ニ付キマシテハ先ヅ力ヲ盡サナケレバナラヌト存ジマス、國民體力法ニ於キマシテモ斯様ナ願慮ノ下ニ今回新シク規定ヲ設ケマシテ、體力検査ノ結果必要ガアリマス場合ニ於キマシテハ、地方長官ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リ公共團體其ノ他ノ法人又ハ團體ニ對シテ體力向上ニ關シテノ處置又ハ施設ヲ爲スコトヲ指示スルコトガ出來ルト云フ新シイ條文、即チ十二條ノ二ヲ設ケタノモ其ノ一ツノ趣旨デアリマシテ、此ノ規定ニ依リマシテ是ヨリ後公共團體或ハ鑛山、工場、會社ト云フヤウナモノニ對シマシテモ、今ノ御話ノ環境、衛生改善ト云フヤウナコトニ付キマシテ指示ヲ爲シ得ルヤウニ致シタ譯デゴザイマス、其ノ場合ノ環境、衛生ノ改善ニ付キマシテハ、此ノ住宅ノ改善ト云フヤウナコトモ指示出來ル譯デアリマスシ、榮養、休養等ニ付キマシテモ指示スル積リデゴザイマス、勿論今日迄モ全然ヤラナカッタ譯デハナイ、工場法ナドニ於テモ之ヲ爲シ得ル規定ガアリマシテ、不十分デアリマシタケレドモ、榮養、休養等ニ付テヤッテ居ッタデアリマス、是等ノ點ガ率直ニ申上ゲマスト不十分デゴザイマスノデ、今回體力法ニモ其ノコトヲ入レマシテ、今御示ノアリマシタヤウナ點ニ努メテ力ヲ注ギタク考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵高木喜寬君 御答ニ依リマシテ能ク分リマシタガ、先程大臣カラモ御話ノヤウニ費用ガ莫大ニナルカラ多分ドウシテモ赤

字ガ出ルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、多分サウダラウト思ヒマスガ、是非出來ルダケ豫算ヲ御取リニナリマシテ、此ノ目的ヲ貫徹スルヤウニ努力セラレムコトヲ御願ヒ致シマス、尙次ニ先程ノ御説明ニ依リマシテ、此ノ法案ノ目的ハ結核撲滅、無醫村ノ解消並ニ一般衛生、一般ノ醫療ヲ向上スルコト云フコトデゴザイマシタガ、私ハ此ノ結核病ガ解決スレバ國民ノ保健問題ハ半バ解決スルモノト思フノデアリマス、從テ出來得ルナラバ今回出來マスル醫療團ニ專ラ結核ニ付テノ治療ヲ行フト云フコトニシタラドウカト思フノデアリマスガ、先程ハ此ノ三ツノ目的ニ向テ部分的ニ御働キニナルヤウナ御話デアリマスガ、成ルベク結核ニ力ヲ御注ギニナルヤウニシタラドウカト思フノデアリマスガ、如何デスカ

○政府委員(武井群嗣君) 只今ノ御説誠ニ御尤ト思ヒマス、日本醫療團ノ目的ハ屢、申上ゲタ通りデゴザイマスガ、現實ノ狀態ト致シマシテ結核療養ノ病床ガ甚ダシク不足シテ居リマスノデ、日本醫療團ト致シマシテハ出來ル限り速カニ此ノ結核病床ヲ増設スルコトニ努メナケレバナラスコトト存ジテ居リマス、醫療團ノ事業ヲ企畫經營スルニ當リマシテハ、御趣旨ノ點ヲ能ク承リマシテ善處致シタイト思ヒマス

○男爵高木喜寬君 次ニ醫療團ノ診療ヲ受ケル者ノ資格ニ付テ伺ヒタイト思ヒマスガ、醫療團ノ診療ヲ受ケル者ハ實費デゴザイマスガ、ソレトモ治療デアリマスガ、ソレトモ又多少ノ利益ヲ見ルノデアリマスカ、一體ドウ云フ階級ノ人ヲ主ニ取扱フヤウニ御考ニナリマスガ

○政府委員(武井群嗣君) 先程申上ゲマシタヤウニ普通ノ一般ノ病院、結核以外ノ病院ニ付キマシテハ國民何人ト雖モ之ヲ診療スル建前デゴザイマス、從テ之ニ對シマシテハ適正ナ料金ヲ收受ケル計畫ニナッテ居リマス、ソレカラ結核ニ付キマシテハ是ハ今日モ公立病院等ニ付キマシテハ相當數ヲ無料デ致シテ居ル譯デアリマスカラ、大體今日ヤッテ居リマスルヤウニ、其ノ生活ノ實情ニ應ジマシテ輕費診療或ハ無料等ノ途ヲ開キタイト考ヘテ居リマス

○男爵高木喜寬君 モウ一ツ伺ヒタイノハ、今我が國ニ於キマシテハ人的資源ニ困ッテ居ルノデアリマスガ、此ノ人的資源ヲ確保スルコト及ビ國民ノ體力ヲ向上スル根本ハ、私ハ豫防醫學ニアルト思フノデアリマス、先程大臣ノ御話ニモ新シイ治療法ヲ普及シタイト云フヤウナコトヲ仰シヤイマシタガ、私ハ治療ハ末ノ末デアッテ、實際ハ豫防醫學ガ最も必要デアルト思フノデアリマス、ソレ故ニ政府ニ於キマシテハ此ノ豫防ヲ第一トシテ、此ノ豫防醫學ヲ發達スルヤウニシタラ如何カト思ヒマスガ、ドウデスカ

○政府委員(武井群嗣君) 仰セ誠ニ御尤デアリマス、實ハ大臣モ説明致シマシタヤウニ、今回國民醫療法ノ中ニモ醫師ノ本分ヲ規定致シマシテ、其ノ際ニ於テモ從來醫師ハ醫療ヲ掌ルモノトナッテ居タ譯デアリマスガ、今回ハ醫療及保健指導ヲ掌ルト云フコトヲ明記致シマシテ、豫防ノ方面ニ手ヲ延ベサセルコトニ規定ヲ設ケタ譯デアリマス、トモスレバ患者ノ來ルノヲ待ツト云フヤウナコトデハ是カラ先ハ相濟マヌコトト考ヘテ居ル譯デアリマス、從テ醫療團ト致シマシテハ其ノ仕事ノ中ニ醫療團ニ屬ス

ル醫師、齒科醫師等ノ補備教育、補習教育等モ致スコトニ規定致シタ譯デアリマスガ、是等ノ點ヲ試ミマシテ、從來トモスレバ治療醫學ヲ主トシテ居リマシタ醫師等ニ對シテ、御話ノヤウナ豫防醫學ノ方面ノ補習教育等モ考ヘテ居リマスガ、根本ハ是カラ後出ル所ノ醫師ノ教育ニ於キマシテ、此ノ點ヲ特ニ注意ヲシナケレバナラスコトデアル譯デアリマスノデ、是ハ文部省ノ所管デゴザイマスガ、政府ニ於キマシテハ關係閣僚ノ間ニ於テ、特ニ醫育ノ刷新ト云フコトニ付キマシテ色々ト研究ヲ致シ、話ヲ進メテ居ルヤウニ承ッテ居リマス、根本的ノ醫學教育ニ於キマシテ此ノ豫防醫學ノ方面ヲモット、教ヘルヤウニシテ貰フコトガ最も大切ナコトデアルト思ヒマス、別途文部省ニ於キマシテハ醫學ノ刷新ノ協議會等モ開イテ、是等ノコトモ研究シテ居リマスガ、段々ト御話ノヤウナ方向ニ進ンデ參ルコトト存ジマス

○男爵高木喜寬君 モウ一ツ御尋ネシタイデアリマス、醫療ハ半バ精神的ナモノデアリマス、從テ之ヲ掌ル醫師ハ重大ナル責任ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、從テ其ノ醫師ノ教育ニハ大イニ注意ヲシナケレバナラナイト思ヒマス、處ガ私十數年前カラ思ッテ居ルノデアリマスガ、今日ノ教育方針ハ餘リ完全デナイト思フノデアリマス、今日ノ學制制度ハ十分ナル醫育ノ教育ハ出來ナイト思フ、是ハ文部省ニ關係シテ居ルノデアリマスガ、所謂オ醫者ハ出來テモ醫師者トシテハ十分デナイ、其ノ理由ヲ申上ゲマス、トモトモ意見ノ質問ニナリマスガ、私自身私立大學ノ慈惠大學ニ關係シテ居ル者デアリマスガ、此ノ大學ニ於テ

見マス、慈惠大學ハ法令ニ依リマシテ三箇年ノ制度ノ豫科ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ私ノ大學ノ卒業生ハ醫學士ニナリマス、サウシテ我が大學ニ入りマシタ者ハ勿論醫者ニ限ラレテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ七箇年間掛ッテ私等ノ大學ノ卒業スル者デアリマスガ、世間デハ七箇年モ掛ッテドウモ餘リ満足シタ醫者ガ出來ナイト云フヤウナコトヲヨク言フノデアリマス、實際ノ醫術カラ申シマスト專門學校ヲ出タ者ト大學ヲ出タ者トサウ大シク違ヒハナイノデアリマスガ、是ハ全ク今日迄ノ制度ノ所謂高等學校令ガ大イニ此ノ妨害トナッテ居ルト思フノデアリマス、詰リ三箇年間ハ豫科ニ於キマシテハ醫學ニ關スル教育ハ殆ドシテ居ナイノデアリマス、從テ大學ニ入りマシテ初メテ醫學ノ課程ニ入ル、醫學ニ對スル實際教育ハ四年目ニ初メテ教ヘルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ豫科ヲ習フ科目ハ殆ド其ノ儘大學ニハ役ニハ立タナイノデアリマス、是ガ此ノ高等學校令ニ依ル學制ノ大缺點デハナイカト思フノデアリマス、專門學校ニ於キマシテハ四年ト五年トアリマスガ、ドチラニシロ初メヨリ醫學ノ課程ヲ教ヘルノデアリマス、詰リ短時日ニ教育ヲ完成スルノガ主眼デアリマスカラ、當初カラ醫學一點張りデアリマス、又ソレニ入ル者モサウ云フ氣持デアリマスカラシテ、卒業スル時分ニハ殆ド大學ヲ出タ者ト似タヤウナ技術ヲ持ッタ者ガ出ル、然ルニ醫大ニ於キマシテハ三年間餘計勉強シテ居ルニ拘ラズ、ソレハ學力ニ於テハ確カニ優ッテ居リマスガ、併シ醫術ニ於テハ殆ド同ジ位デアアル、ドウゾ當局ニ於テモ此ノ點ニ御注意ヲナサレマシテ、高等學

此ノ點ニ御注意ヲナサレマシテ、高等學

校令ヲ變ヘルカ、又ハソレヲ主眼トセズニ各大學ノ希望ニ依リマシテ此ノ大學ノ特色ヲ發揮セシムルヤウニ強化サレル方針ヲ御採リニナツタナラバドウカト思フノデアリマス、勿論其ノ教育ノ改正ニ付キマシテハ私モ案ハ多少持ッテ居リマスガ、餘リ長クナリマスカラ申上ゲマセスガ、若シ高等學校令ヲ變ヘルコトガ出來ナケレバ、此ノ七年間ニ或方法ニ依ッテハ相當ナ立派ナ醫者ヲ造ルコトハ出來ルト私ハ思ッテ居ルノデアリマス、又皆サンモ御存ジノ通り外國ニ於キマシテハ大學ハ五箇年デアリマス、醫者ニナルニハ中學校ヲ出デカラ五年デ醫者ニナルコトガ出來ルノデアリマス、處ガ日本ニ於キマシテハ是ガ七年デアリマス、ソレデ此ノ五年間デ出來ナイコトハナイト私ハ思ッテ居リマス、從ッテ今度ノ法案ナドニ付キマシテモ色々御質問ガ出ルト思ヒマスケレドモ、總テノ御質問ハ此ノ根本ノ醫育ノ教育ヲ變ヘタナラバ必ズヤ解消スルモノト私ハ信ジテ居ル者デアリマスルガ、文部省ニ於キマシテハ此ノ教育ニ於テ何カ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、チヨット御伺ヒシタイト思フノデアリマス

モウ少シ臨床ノ方面ヲ多クシテ、十分ニ學校在學時代ニ其ノ方面ノ、實際の方面ノ腕ヲ身ニ著ケルト云フ風ニアリタイト云フヤウナコト、尙醫ハ仁術ナリト云フヤウナ意味合ニ於テ、詰リ將來醫者タルベキ者ノ精神教育ト云フコトニ付テハ、是ハ十分ニ一ツ考ヘテ行カナケレバナラナイモノデアリ、醫者タルベキ者ノ斯ウシタ人格教育ト申シマスカ、精神教育ト云ヒマスカ、サウ云フ方面ニ付テハ十分考フベキデアルト云フヤウナコトガ能ク言ハレテ居ルト思ヒマス、從ヒマシテ今回ノ醫學教育刷新委員會ニ於キマシテモ、サウ云ツタヤウナ問題ガ論議サレルコトデアラウト思ッテ居リマス、尙教授ノ内容ニ付キマシテモ十分ニ檢討ヲ致シマスカ、隨分廢合整理致スベキ所ノ科目モ生ジテ來ルカト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテ一ツ十分ニ審議ヲ盡シマシテ、御話ノ諸點等ヲモ十分參考ニ致シマシテ、文部省トシテノ結論ヲ得タイト思ッテ居リマス

カ、就テハ此ノ法案ノ最初ノ大臣ノ御説明ノ中ニ、尙被管理者以外ノ者ニ對シテモ特ニ國民體力ノ向上ヲ圖ル爲ニ必要アリト認メラレマス場合ニハ、被管理者ニ準ジテ體力検査ヲ行フコトスルト云フヤウナコトガ書イテアリマス、師範教育改善ノ途上デモアリマスルシ、此處デ此ノ被管理者以外ト云フ者ノ中ニ小學校教員全部ヲ御入レニナリマシテ、サウシテ早急ニ一ツ檢討ヲナスッテ、サウシテ對策ヲ御立テニナツタラ如何カト存ジマスガ、一ツ厚生省ノ方ト御相談ノ上、或ハモウ既ニサウ云フ御計畫ガアレバ御聽カセヲ願ヒタイト思ヒマス

シテハ、私モ少シク承知致シテ居ッタノデアリマスガ、併シナガラ私ノ乏シキ知識カラ考ヘマシテモ、相當サウ云フヤウナ發見サレナイ、或ハ自覺シナイ、又自覺シテモ之ヲ生活問題其ノ他ニ於テ隱蔽シテ置クト云フヤウナ事實カラ、既ニ手遅レニナツテ大事ニ至ルト云フヤウナ例ヲ二、三或ハソレ以上知ッテ居ルノデアリマス、其ノ間ニ常ニ小學兒童ニハ多分ノ傳染ヲシテ居ルノデヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、一ツノ麥ガ落ッコチテ澤山ノ物ガ出來ルト云フ、丁度サウ云フ逆ノヤウナ結果ヲ澤山招來シテ居ルヤウニ思フノデス、此處デ一ツ思ヒ切ッテ集團檢討ナリ、或ハ此ノ國民體力法案ノ中ニ入レルト云フヤウナ御考ヲ御話合ニナリマスト云フコトハ出來マセスカ

○政府委員(永井浩吉) 醫學教育ノ問題ニ付キマシテハ、只今厚生次官カラモ答辯モアリマシタ如ク、文部省ト致シマシテ醫學教育刷新委員會ヲ作リマシテ、醫學教育ノ各種ノ問題ニ付テ十分ニ此ノ際檢討ヲ致ス積リデ居リマス、從ヒマシテ此ノ醫學教育刷新委員會ニ於キマシテ御話ノヤウナ色々ノ問題ハ討議、審議サレルコト思フノデアリマス、只今御答辯スルノハ如何カト思フノデアリマスケレドモ、マア從來醫學教育ニ付テ能ク言ハレマスルコトハ、一ツハ

○男爵山根健男君 先程國民體力法案ノ時ニチヨット文部省ノ政府委員ガ居ラレマセヌ爲ニ御質問申上ゲナカッタノデアリマスガ、此ノ法案ニ關聯ガアリマスカラチヨット小學校教員ノ結核ノ問題ニ付テ文部省ノ當局ニ御質問申上ゲテ宜シウゴザイマス

○政府委員(永井浩吉) 私其ノ方ノ係ヲ致シテ居リマセヌ爲ニ、御満足ノ行クヤウナ御答辯ガ出來ナイカト思ヒマスガ、御話ノ如クニ國民學校教員ノ保健ト云フモノガ、兒童ノ心身ニ非常ナ影響ヲ及スト云フコトハ事實ノコトデアルト思ヒマス、從ヒマシテ文部省ト致シマシテハ、是等ノ教員ニ對シマシテ、常ニ心身ノ鍛鍊、保健衛生ノ實踐ト云フコトニ意ヲ拂ハシメテ參ッテ居ルノデアリマスガ、更ニ此ノ精密ナル身體検査ヲ行ッテ、其ノ健康狀態ヲ明カニ致シマルト共ニ、疾病異常ノ早期發見ニ努メマシテ、若シ疾病ニ罹リマシタ際ニハ教員保養所、教員共濟組合、國民學校教職員疾病療治料給與規程ト云フヤウナ制度ニ依リマシテ、療養ノ途ヲ開クト云フヤウナ風ニ從來トモ教員ノ保健ニ關シマシテハ、各種ノ對策ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、只今御話ノ點等ニ付キマシテモ、十分勘案致シマシテ、此ノ問題ニ付テ善處致シタイト思ヒマス

○男爵山根健男君 段々ト只今御説明ガゴザイマシタ、從來ノ色々ノ御施設ニ對シマシテハ、私モ少シク承知致シテ居ッタノデアリマスガ、併シナガラ私ノ乏シキ知識カラ考ヘマシテモ、相當サウ云フヤウナ發見サレナイ、或ハ自覺シナイ、又自覺シテモ之ヲ生活問題其ノ他ニ於テ隱蔽シテ置クト云フヤウナ事實カラ、既ニ手遅レニナツテ大事ニ至ルト云フヤウナ例ヲ二、三或ハソレ以上知ッテ居ルノデアリマス、其ノ間ニ常ニ小學兒童ニハ多分ノ傳染ヲシテ居ルノデヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、一ツノ麥ガ落ッコチテ澤山ノ物ガ出來ルト云フ、丁度サウ云フ逆ノヤウナ結果ヲ澤山招來シテ居ルヤウニ思フノデス、此處デ一ツ思ヒ切ッテ集團檢討ナリ、或ハ此ノ國民體力法案ノ中ニ入レルト云フヤウナ御考ヲ御話合ニナリマスト云フコトハ出來マセスカ

○男爵山根健男君 文部省ノ當局ノ方ニ伺ヒマスガ、小學校教員ノ中ニ結核患者ガ非常ニ多イト云フコトハ一ツノ常識ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、特ニ之ニ開放性ノ患者ガアリマスル場合ニハ、小學生ニ及ス影響ハ非常ニ甚大ノモノガアルノデヤナイ

○男爵山根健男君 十分一ツ考慮ト云フコトハ、近イ將來ニ御實行ニナルコトヲ期待シテ、私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○松井茂君 先刻高木委員カラ文部省ヘノ御質問ガゴザイマシタガ、私モ此ノ問題ハ大變責任ヲ持ッテ居リマスノデ、一ツ申上ゲテ置キタイト存ジマス、實ハ醫藥制度調査會ニ於キマシテ、昭和十五年ノ丁度冬デアリマシタガ、此ノ醫藥ノ人物構成要素ニ關スル事項ト云フ問題ニ付キマシテ、醫藥制度調査會ノ總會カラ私ノ關係シテ居リマス第一委員會ノ方ニ、實ハ調査ノ委託ガアツタノデアリマス、其ノ結果醫師ノ免許前ノ基礎的診療ニ關スル修練ノ充實、是ガ重大ナル問題ニナツタノデアリマス、處ガ此ノ問題ハ餘程能ク研究シマセヌト文部省ニモ大變

關係ガアル、ソレカラ時節柄厚生大臣ハ醫師ノ免許權ヲ持テ居ル、ソレカラ文部大臣ハ一面ニ於テ學校ノ卒業生免狀ヲ與ヘテ居ル、ソコデ文部大臣ト厚生大臣ノヤラレルコトガ出來ルダケ一致シテ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、開業免狀ト云フモノト學校ノ卒業生ト云フコトガ、結果トシテハ一元的ニナルヤウニシタイト云フノガ、教育審議會ノ輿論デアッタノデアリマス、而シテ教育審議會ハ御承知ノ通りニ大學ノ教授ヲ初メ、最も高等ノ教育ヲ御受ケニナツタ方並ニ醫業ノ實際ニ通曉シテ居ラル、方ノ集リデアリマス、ソレ等ノ權威者ガ満場一致デ、是非トモ文部省ニ其ノ意味ヲ交渉シテ貰ヒタイト云フ熱烈ナル希望ガアッタノデゴザイマス、處ガ一面ニ於キマシテ、私モ席末ヲ汚シテ居リマスルガ、文部省ニハ教育審議會ト云フモノガアッタノデアリマス、ソコデ教育審議會ノ是ハ矢張り問題ニモナリマシテ、サウシテ厚生省ト文部省ガ成ルベク意思ヲ疎通サシテ、サウシテ一ツウマク效果ヲ得タイト云フヤウニウマク我々モ折衝ノ勞ヲ執ツタ積リデアリマス、今ヤ時局ガ時局デアリマシテ、大學ノ卒業生ナドモ期限ヲ短縮スルヤウナ時代デアリマス、又其ノ經驗家ノ方々ガ皆ソレハ大丈夫一元的ニヤツテ差支ナイト、斯ウ言ツテ居ラル、ヤウナ内情デアッタノデアリマス、要スルニ學校ノ修學期間内ニ於テヤリ繰リヲサレバ、此ノ實地診療者ノ必要ナ時間ハキツト出ルニ相違ナイ、斯ウ云フ譯デアッタノデアリマス、然ルニ其ノ後文部省カラ厚生省ノ方ニハ御回答モナシ、又厚生省ハ爾來此ノ問題ニ付テドウ云フ御態度ヲ御執リニナツタノカ、現ニ厚生省ノ御當局ハ此ノ問題ニ付テ如何ナル御考デアラウ

カ、私共モ責任ヲ持ッテ居リマスノデ、念ノ爲御伺ヒ致シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(永井浩君) 學校ノ卒業免狀ト醫師ノ免許狀ト一元的ニスルト云フコトニ付テノ意見ヲ御尋ノヤウデアリマス、文部省ト致シマシテハ御話ノ如クニ、從來ト同様ニ今後モ一元的ニ運用サル、コトヲ望ンデ居ル次第デアリマス、尙ソレニ付キマシテハ、先程モ御答辯申上ゲタ中ニ申上ゲタ積リデアリマスガ、從來ノ醫學教育ト云フモノニ付テハ相當ノ刷新ヲ加ヘマシテ、特ニ臨床方面等ニ於テ力ヲ入レマシテ、學校ヲ卒業ト同時ニ醫師ノ免狀ヲ貰ヒマシテモ、サシタル素質ノ劣惡ヲ來サナイト云フコトニ付キマシテハ、從來ヨリモ今後ニ於キマシテハ一層力ヲ盡シテ行カケレバナラナイト思ッテ居リマス、サウシタ醫學教育ヲ刷新フ伴ヒマスナラバ、一元的ニ取扱フト云フコトニ付キマシテモ、是ハ實質的ニ何等ノ不安モナイコトト存ジテ居リマス

○政府委員(武井群嗣君) 只今御尋ノ點ニ付キマシテハ文部省カラ御答ノ通りデアリマス、今回ノ醫療法ニ基イテ勅令ヲ起草スル場合ニ於キマシテハ、今文部省ノ政府委員カラ御答ノアリマシタヤウニ、一年以上診療ノ實習等ヲ經テ者ニ對シテ免許狀ヲヤラウト云フコトニ規定スル積リデア文部省ト話合ヒ、大體意見ハ一致シテ居リマス

○松井茂君 ドウカ成ルベク速カニナサルヤウ一ツ御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス

○野田六左衛門君 結核ノ豫防ニ付テ御尋ネ致シタイと思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 只今ノ御話ノ點、失禮デゴザイマスガ、チヨット聴取リニタイ點ガゴザイマシタノデ……

○野田六左衛門君 現在豫防注射ガ二、三ゴザイマスガ私素人デ分リマセスガ、實際效果ガゴザイマスモノデゴザイマスカ

○政府委員(高野六郎君) 豫防注射ニ付キマシテハ學者ノ間ニ色々研究シテ居リマシテ、殊ニ學術振興會ノ中ノ結核小委員會ニ於キマシテハ、特ニ豫防注射ノ問題ヲ取上ゲマシテ、日本中ノ專門ノ學者ヲ殆ド總動員ト言ウテ宜シイ位ニ驅リ集メマシテ、研究ヲ致シテ居リマスルカラ、其ノ結論ガ遠カラズ出デ參ラウト存ジマス、只今申上ゲマシタ研究ハ「フランス」ノ學者ノ發明シマシタ「ビー・シー・ジョー」ト呼ンデ居リマスル活キテル、併シ無毒ナル結核菌ヲ豫防注射ニ使フノデゴザイマス、此ノ方法ニ依リマスルト、日本ノ學者ノ經驗ニ基イテ考ヘマシテモ、相當效果ガアルヤウニ思ハレマス、併シ活キタ微菌ノ豫防注射ハ色々面倒ガゴザイマスノデ、實用ニ供シマシテ、間違ガアルカナイカト云フヤウナ點、又其ノ豫防注射劑ノ效力ノ持續ノ點、又人體ニ應用シタ時ノ效果ノ點等ニハマダ研究ノ餘地ガアラウカト存ジマシテ、私共ハ學術振興會ノ委員ノ報告ヲ俟チマシテ、若シ有效確實ノ如クニアリマシテ、又危害ガゴザイマセスト云フコトデアリマスレバ、即チ實際ニ應用スルニ適當スルト云フトガ明確ニナリマシタナラバ之ヲ利用シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマシテ、現ニ結核豫防會、是

ハ厚生省カラ研究ノ補助等モ出シテ居リマスル、此ノ結核豫防會ノ研究部門ニ於キマシテモ、研究ニ着手シテ居リマス次第デアリマス、ソレカラ尙今ノ豫防注射劑トハ異リマシテ、日本ノ學者ガ本來研究ヲ續ケテ居リマスル者ガ、大阪ノ是ハ有馬研究所ノ「アー・オー」ト申スモノナドガ相當研究サレテ居リマシテ、例ヘバ京都ノ近クデアリマスレバ滋賀縣等ニ於キマシテハ、可ナリ多數ノ實驗ヲ重ネテ居リマスガ、是モ恐ラク縣ノ當局カラ遠カラズ明瞭ナル報告ガ出テ來ルノデハナイカト存ジテ居リマス、何分豫防注射ト云フモノハ、殊ニ結核ノ如ク經過ノ慢性ナル疾病ニ對スル豫防注射ノ效果ヲ判斷致シマスルコトハ、事實困難デアリマスルノデ、慎重ヲ期シテ之ヲ實地ニ應用致シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(公爵島津忠承君) 本日ハ此ノ程度ニ止メマシテ、明日午前十時ヨリ開キタイト存ジマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後三時三十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵島津 忠承君

副委員長 子爵京極 高修君

委員 侯爵筑波 藤麿君

侯爵久我 通顯君

子爵實吉 純郎君

子爵高木 正得君

松井 茂君

河原田稼吉君

安井 英二君

下村 宏君

男爵井上 清純君

男爵高木 喜寬君

男爵高木 喜寬君

男爵高木 喜寬君

男爵山根 健男君

中川 望君

小坂 梅吉君

田部長右衛門君

野田六左衛門君

國務大臣

厚生大臣 小泉 親彥君

政府委員

文部省專門學務局長 永井 浩君

厚生次官 武井 群嗣君

厚生省人口局長 中村敬之進君

厚生省衛生局長 加藤於菟丸君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

厚生省生活局長 川村 秀文君

厚生省勞働局長 持永 義夫君

厚生書記官 吉富 滋君

同 高橋 敏雄君

保險院長官 樋貝 詮三君

保險院總務局長 歌田 千勝君

保險院社會保險局長 木村 清司君

昭和十七年二月六日印刷

昭和十七年二月七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局